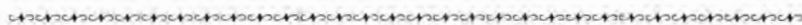


会長のページ 医師会内委員会について	河野 雅行	3
日州医談 医療事故調査制度施行半年を過ぎて	濱田 政雄	4
エコー・リレー(490)	野村 勝政, 石井 千寸	7
メディアの目 東九州自動車道に思う	長田 泰弘	12
宮崎大学医学部だより(機能制御学講座機能生化学分野)	西頭 英起	13
専門分科医会だより(内科医会)	田口 利文	14
私 の 本 歌集『日向の光と影』	大西 雄二	65
診療メモ 低線量肺がんCT検診	湯田 敏行	66

表彰・祝賀	6
宮崎県感染症発生動向	8
あなたできますか？(平成27年度医師国家試験問題より)	10
都道府県医師会広報担当理事連絡協議会	15
平成27年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	17
第5回日本糖尿病対策推進会議総会	19
薬事情報センターだより(349) 免疫チェックポイント阻害薬	21
日医インターネットニュースから	22
理 事 会 日 誌	26
ベストセラー	30
県 医 の 動 き	31
追悼のことば	32
会員の異動・変更報告	34
ドクターバンク情報	39
行 事 予 定	43
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	47
宮大医学部学生のページ	68
あ と が き	72



お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集	11
クールビズについて	20
第17回宮崎県医師会医家芸術展	24
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	45
郡市医師会への送付文書	70
公 示 宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿	25

会長のページ

医師会内委員会について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

度々話題にしますように県医師会の役割、活動は多岐に渡ります。残念ながら、その全貌が会員諸氏に充分理解されているとは言い難く、ましてや一般県民には誤解されたまま、今でも圧力団体としてマイナスの見方しかされない場面が多々遭遇します。様々な機会を捉えて、連絡・広報を行ってはいますが、周知するのは困難です。昨年に続き今回は、数多い医師会活動の一端として委員会を紹介します。

医師会は、地域医療の充実推進、医学の発展への寄与、会員福祉等を主たる目的としており、県内医療に関する事項は漏れなく

理事会の協議として取り上げられます。

県医師会には日医の委員会に準じて多くの委員会が設けられ活動しています。その他、特別に惹起した問題については、関連ある委員会で協議することとなりますが、既成委員会の活動範囲を拡げて対処するのに限界があれば、新委員会等の設置が必要になります。例えば医療事故調査制度や新専門医制度等のテーマによっては特別委員会を設ける必要もあります。委員会は年数回から毎月開催されるものまであります。ほとんどが夕方終業後の19時に開始されます。県医師会理事は全員が複数の委員会に重複して所属し、委員会や研修会を主催します。参加して、そこで得た意見を理事会で報告し、更に協議します。

委員会を形成する核になるのは各郡市医師会・各専門医会推薦委員です。更に、項目によって必要であれば事象に詳しい多分野からの人材を会長委嘱として依頼しています。例えばこの日州医事の編集をお願いしている広報委員会には若手の意見を反映すべく、宮崎大学医学部の学生にも委員として参加していただいています。数年前より特別な委員会を除いて、出来るだけ会員の声を反映させるべく、多くの委員会委員に自己推薦枠を設けました。委員の人選は候補者の中から担当副会長・理事が協議した後に理事会で決定します。各委員会には每期、主として時のトピックスをテーマとして会長より諮問をします。全会員の意見陳述の場とされている総会等では時間的制約もあり、なかなか発言出来なくても、委員会では比較的発言しやすいし、現に積極的、建設的なご意見をいただいております。委員会の活性化に繋がっています。委員会で得られた意見・答申は理事会での協議内容に反映され、県医師会の活動方針決定に繋がることになります。

何れにしても医師会活動を充実させるために、広く皆様のご意見を取り入れたいと考えていますので、会員の先生方におかれましては、医師会を良くする活動への参加方法の一つとして、自己推薦委員枠を利用し、積極的に興味のある委員会に参加されて意見を述べ、活発な議論を試みませんか。

(平成28年 5 月18日)

日州医談



医療事故調査制度施行半年を過ぎて

副会長 濱 田 政 雄

予期しない医療死亡事例に対する事故調査制度が開始されて、半年あまりが経過した。医療安全を巡る約17年間には平成11年の横浜市大患者取り違え事件・都立広尾病院事件(ヒビテン誤注)・杏林大割り箸事件等から発した医療不信から福島県立大野病院事件での産婦人科医療崩壊を経て、医療の不確実性にマスコミも目を向けて来た流れがある。医療の安全・再発防止の観点から医療安全調査を巡っての厚生労働省内での検討においては、平成19年の第3次試案および平成20年の「医療安全調査委員会設置法案(仮称)大綱案」が提示され、その中では医療事故調査委員会からの調査結果を尊重し、捜査機関の刑事手続の対象は故意や重大な過失のある事例その他悪質な事例に事実上限定されるなど警察は謙抑的に対応するとしていた。しかしながら「標準的な医療から著しく逸脱した医療に起因する死亡又は死産の疑いがある場合」には医療安全調査委員会から警察へ通知するとした点が問題視され、法案化に至らなかった。紆余曲折を経て、やっと昨年10月に医療事故調査制度が施行された。当初の年1,300~2,000件の届け出の想定に反して、医療事故調査・支援センターへの報告数は少ないままで経過している。施行後7か月たった4月末時点での状況は、医療事故報告受付件数が累計222件(4月34件)(図1)、相談件数が累計1,141件(4月129件)(図2)、医療事故調査報告(院内調査報告)件数が累計66件(4月16件)(図3)である。その背景として、(1)対

象とされる「予期せぬ死亡事故」の範囲があいまいで、届け出に消極的な医療機関があること(2)遺族側からの届け出が認められていないことが指摘されている。「医療事故調査制度」は患者が死亡する医療事故が起きた場合、すべての医療機関の管理者による原因の調査や医療事故調査・支援センターへの報告を義務づけているが、当該医療事故を調査対象とするかどうかの判断は医療機関の管理者に委ねられている。このため、厚生労働省は本年6月の医療事故調査制度の運用見直し時期に合わせて、全国の医師会・医療機関が参加する協議会を立ち上げ、届け出対象の届け出基準を標準化し、さらに院内調査の手法についても医療機関・地域差の格差をなくす方針を固めたようである。異状死を認めた場合の警察への届け出を義務付けた医師法21条の見直しは、今回の制度見直しには反映されず、継続検討となるようである。また、現在は医療機関の管理者のみに報告の判断は任されているが、遺族から調査要求出来るような仕組みを設けることが検討された。しかし、今回の見直しでは医療事故調査・支援センターに遺族から医療事故ではないかと訴えがあった場合に、遺族の意向を直接医療機関に通知するが、院内調査の義務までは強要されぬようである。

今回の医療事故調査制度発足にあたっての厚生労働省の考え方に、医療の質の向上という視点から医療安全の柱として、1「医療の質と安全性の向上」 2「医療事故等事例の原因究明・分

析に基づく再発防止対策の徹底」 3「患者・国民との情報共有と患者・国民の主体的参加の促進」があり、制度の基本理念としている。日本医師会・県医師会としては、本制度の運用は医療上の予期せぬ死亡事例はすべて報告し、医療側からの積極的な原因究明・分析を行い、再発防止・医療安全に資することが結果的に患者の医療不信を払拭すると考えている。今回の医療事故調査制度では、院内事故調査委員会での調査に重点を置き、医療事故調査・支援センターは院内調査への助言、調査報告書の検証・分析などを担い、調査の目的も「再発の防止」と「医療の質の向上」とされ、責任追及が目的ではないとして、事故報告書でも冒頭に個人の責任を追及するものではなく、医療安全の確保が目的であると記載することとなっている。しかしながら、患者側の医療不信に対する医療側の不安も大きく、医療事故報告することは遺族に医療のミスを示唆することに他ならず、医療訴訟に発展するとの考えを拭えぬ医療管理者も未だ多い。院内事故調査委員会設置に際して、外部の医療専門家が院内事故調査委員会の中心的役割を果たして支援し、公平性・中立性・透明性を担保しての調査のあり方が定着することが肝要である。現在の医療管理者による医療事故調査・支援センターへの報告の可否決定は、遺族視点からは不透明感が強く、本制度の熟成には逆風となると思われる。院内事故調査委員会報告が訴訟に

使われることがあったとしても、医療側からの積極的な死亡原因究明・分析は、カルテ等の差し押さえ下での警察捜査・訴追後の対応よりも医療者としては納得がいくのではないだろうか。厚労省の6月見直しでは、透明化の上から死亡事例届出基準の全国標準化を諮るとしており、報告件数が増加すると思われる。因みに、宮崎県の5月まで相談を受けた医療事故調査・支援センター報告対象件数は全国報告累計222件の10分の1を遥かに超える8件を数え、宮崎県院内事故調査支援委員会としては外部支援委員派遣に苦慮しているのが現状である。不幸にして医療事故調査・支援センターへの届け出事例となった医療機関が医療事故調査・支援センターへの調査報告終了後の遺族対応に於いて、この制度が発足してよかったと評価していただける原因究明・分析および医療安全・再発防止の報告が出来る医療事故調査委員会運用の人材育成が急がれる。

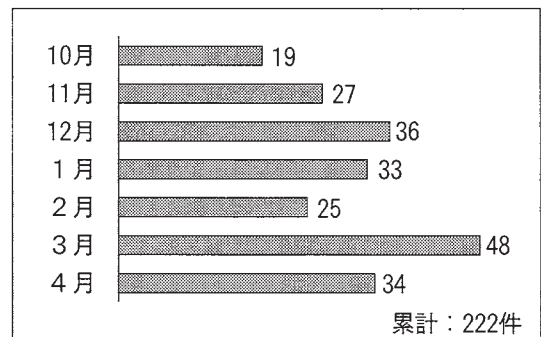


図1 医療事故報告受付件数の推移

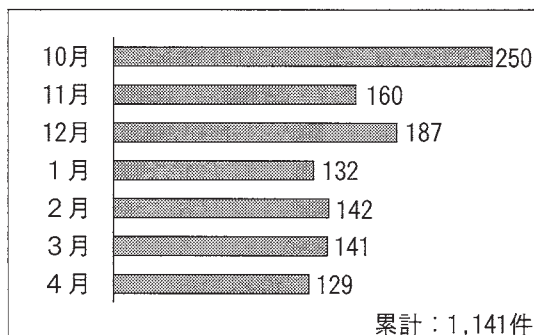


図2 相談件数の推移

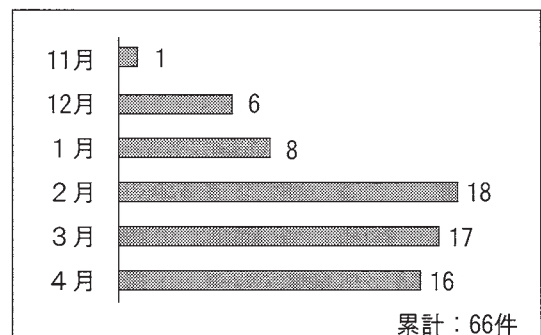


図3 院内調査結果報告件数の推移

表彰・祝賀

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

あ なみ いく お
阿 南 育 男 先生（宮 崎）

と くら おさむ
戸 倉 修 先生（南那珂）

平成28年3月8日、公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰を受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



阿南 先生



戸倉 先生

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会会長表彰

ひ だか たか のり
日 高 隆 徳 先生（延 岡）

平成28年3月8日、公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会会長表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



日高 先生

エコー・リレー

(490回)

(南から北へ・北から南へ)

禁酒の功罪

宮崎市 野村循環器内科 の 村 かつ まさ
クリニック 野 村 勝 政

2009年4月27日大好きだったお酒をやめた。理由は、当時4歳だった娘の気持ちを代弁した妻の冷ややかな一言だった。「お酒を飲んだ時のパパはおかしくなって嫌だって」もともと大勢でお酒を飲むことが好きなため、前日もホームパーティーをしていた。

自宅で気が緩んだのか少し飲み過ぎてしまい、子供達は父親の変貌ぶりをしっかりと見届けていたようである。女性から嫌われるのは辛い、愛娘から嫌がられるのはもっと辛い。

ショックで沈んだ心と向かい合った結果、その日のうちに禁酒を宣言した。しかし、いざ禁酒をするという事ばかりだった。夜間の呼び出しも即対応。飲み代もかからない。当然二日酔いもないから体調もいい。冠婚葬祭も一滴も口にしない徹底ぶりで禁酒を守り、気が付けば3年半が経過していた。しかし、本厄の厄払いの時に転機が訪れた。巫女さんから差し出されたお神酒を拒む自分にふと疑問を感じた時、神の声が聞こえた。「もうそろそろいいんじゃない」飲み会に誘わなければ誘われもしない。よくよく考えると友人達と疎遠になったような気がする。早速妻に解禁の相談をしたところ、「まじめすぎるあなたは窮屈な感じがしてたわ」とあっさり賛成。もしかして私は妻にいいように操られていたのだろうか。現在、以前よりかなりお酒が弱くはなったが、仲の良い先生や友人と飲むお酒はやっぱり楽しい。お金や健康をとるか、人間関係をとるか。結局は飲み過ぎないということか。

[次回は、宮崎市の尾田 朋樹先生をお願いします]

ごあいさつ

延岡市 石井皮膚科 いし い ゆき ちか
石 井 千 寸

延岡市で石井皮膚科を開院している石井千寸です。この度は宮崎市の佐藤小児科の佐藤潤一郎先生からエコー・リレーの執筆を拝命しました。潤一郎先生は宮崎大学医学部、

サッカー部の1年上の先輩です。新入生の時は大変お世話になりました。初めて宮崎県に来て右も左もわからない後輩に2年生の潤一郎先生はとても優しくご指導くださいました。歓迎コンパで泥酔した時のことや霧島で潤一郎先生の愛車をびちょびちょにした時のことも昨日のように覚えています。ご迷惑をたくさんおかけしました。いつも優しく笑顔の潤一郎先生にはサッカーだけでなく公私にわたり本当にお世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

私のことになりますが、宮崎大学皮膚科の医局から県立延岡病院皮膚科へ出向し科長を務めておりましたが、地域医療に貢献したいと考え平成28年4月21日に開院しました。日帰り手術、紫外線治療、ダーマスコープ、エコー検査、診療予約が可能です。自院での初めての急患、初めての手術、初めての事ばかりで、毎日目が回りそうになりながら、無我夢中で一生懸命に努めております。

[次回は、宮崎市の室井 栄治先生をお願いします]

宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月～

平成28年 4 月 4 日～平成28年 5 月 1 日(第14週～17週)

■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核15例：保健所別報告数を【図 1】に示した。

患者が11例，無症状病原体保有者が3例，疑似症患者が1例であった【表 1】。患者は肺結核が10例，その他の結核(頸部リンパ節結核)が1例であった。性別は男性6例・女性9例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類：報告なし。

4 類：○E型肝炎1例：日向保健所管内から報告があった。60歳代男性で，主な症状として肝機能異常，肝腫大がみられた。

5 類：○アメーバ赤痢3例：宮崎市保健所管内から2例，都城保健所管内から1例報告があった。

- ・30歳代男性で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状は下痢，粘血便，しぶり腹，腹痛であった。
- ・40歳代男性で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状は粘血便，しぶり腹，腹痛，大腸粘膜異常所見であった。
- ・60歳代男性で，病型は腸管アメーバ症であった。主な症状は下痢であった。
- 急性脳炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。40歳代で，主な症状として発熱，意識障害，髄液細胞数の増加がみられた。原因病原体はインフルエンザウイルス A 型であった。
- 侵襲性肺炎球菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。5～9歳で，主な症状として発熱，腹痛，反跳痛，筋性防御がみられた。肺炎球菌のワクチン接種歴はなかった。

■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は4,013人(定点あたり117.0)で，前月比44%と大幅に減少した。また，例年の110%とやや多い。

前月に比べ増加した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱で，減少した主な疾患はインフルエンザと RS ウイルス感染症であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は，伝染性紅斑，流行性耳下腺炎とマイコプラズマ肺炎であった。

伝染性紅斑の報告数は84人(2.3)で前月の約0.8倍，例年の約17.1倍であった。中央(7.0)，小林(4.0)，都城(3.8)保健所からの報告が多く，年齢別では4～7歳が全体の約半数を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は465人(12.9)で前月の約1.0倍，

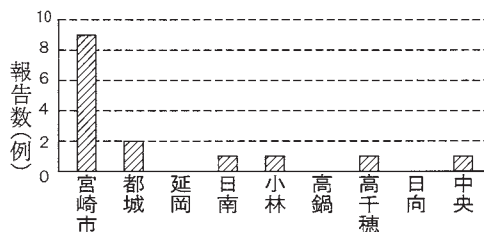


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	10
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	3
疑似症患者	1

表 2 結核 年齢別報告数(例)

20歳代	30歳代	40歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	1	3	4	3	2

前月との比較

	2016年 4 月		2016年 3 月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1,030	17.5	8,846	149.9	
RSウイルス感染症	73	2.0	154	4.3	
咽頭結膜熱	97	2.7	73	2.0	
※溶レン菌咽頭炎	367	10.2	371	10.3	
感染性胃腸炎	1,547	43.0	1,937	53.8	
水痘	58	1.6	39	1.1	
手足口病	18	0.5	14	0.4	
伝染性紅斑	84	2.3	110	3.1	★
突発性発しん	142	3.9	127	3.5	
百日咳	1	0.0	1	0.0	
ヘルパンギーナ	5	0.1	2	0.1	
流行性耳下腺炎	465	12.9	474	13.2	★
急性出血性結膜炎	0	0.0	1	0.2	
流行性角結膜炎	92	15.3	126	21.0	★
細菌性髄膜炎	1	0.1	1	0.1	
無菌性髄膜炎	2	0.3	4	0.6	
マイコプラズマ肺炎	11	1.6	8	1.1	★
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	20	2.9	29	4.1	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

例年の約14倍であった。小林(46.0)、延岡(33.8)、日向(26.5)保健所からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約7割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は11人(1.6)で前月の約1.4倍、例年の約16.8倍であった。宮崎市(5.0)、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢別では10歳未満が全体の約7割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 〈2016年4月〉

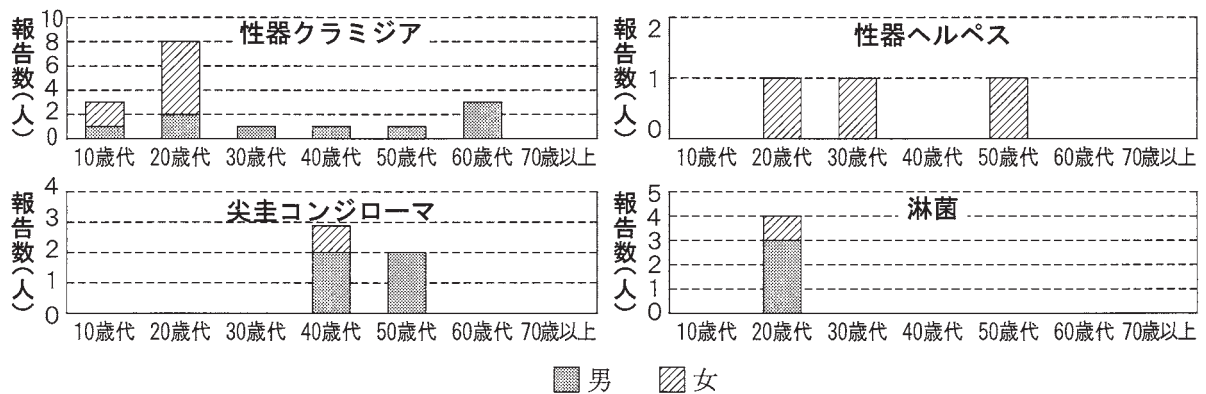
□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月(2.5)の約0.9倍、昨年4月(2.7)の約0.8倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数17人(1.3)で、前月(1.7)の約0.8倍、昨年4月(1.9)の約0.7倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた(男性9人・女性8人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月及び昨年4月(0.38)の約0.6倍であった(女性3人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数5人(0.38)で、前月(0.15)の2.5倍、昨年4月(0.08)の約4.8倍であった(男性4人、女性1人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月(0.31)の1.0倍、昨年4月(0.38)の約0.8倍であった(男性3人・女性1人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比84%と減少した。また昨年4月(2.4)の約1.2倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約0.9倍、昨年4月(2.4)の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった。前月の0.5倍であった。(昨年4月報告なし)
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウィルス	インフルエンザ AH1pdm09型	6
	インフルエンザ B型(ビクトリア系統)	1
	パラインフルエンザ 1 型	1
	エコーウイルス 18 型	1
	ライノウイルス	1
	ヒトメタニューモウイルス	1
細菌	腸管病原性大腸菌(EPEC) (OUT : HNM)	1
	<i>Salmonella</i> Litchfield (O8(O6) : 1,v:1,2)	1
	<i>Salmonella</i> Manhattan (O8(O6) : d : 1,5)	1
	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4 : d : 1,7)	1



あなたできますか？

— 平成27年度 医師国家試験問題より —

(解答は42ページ)

1. 帝王切開のための脊髄くも膜下麻酔時に最も高頻度にかかるのはどれか。

- a 誤嚥
- b 嘔声
- c 発熱
- d 乏尿
- e 血圧低下

2. 我が国における食物依存性運動誘発アナフィラキシーの原因として頻度が高いのはどれか。

2つ選べ。

- a 甲殻類
- b 牛乳
- c 小麦
- d 大豆
- e 卵

3. マクログロブリン血症で認めないのはどれか。

- a 脾腫大
- b 血球減少
- c 高IgG血症
- d リンパ節腫脹
- e Raynaud症状

4. 妊娠高血圧症候群のため入院中の妊娠32週の患者が上腹部痛を訴えた。

まず確認すべき血液検査項目はどれか。3つ

選べ。

- a Ca
- b LD
- c AST
- d 血小板数
- e ヘモグロビン

5. 23歳の男性。行動の異常を心配した家族に連れられて来院した。6か月前に大学を卒業し就職した。3か月前から遅刻が目立つようになり、休みがちとなった。1か月前からは、1日中自室に閉じこもるようになった。1週間前から誰かと話しているような独り言がみられ、さらに「誰かに見張られている」「数人が自分の悪口を言い合っている」とおびえるようになった。夜間眠らず、部屋の中を動き回るようになったため家族に連れられて受診した。意識は清明。神経学的所見に異常を認めない。血液生化学所見に異常を認めない。

治療薬として適切なものはどれか。

- a バルプロ酸
- b クロナゼパム

- c リスペリドン
- d カルバマゼピン
- e フルボキサミン

6. 肺腺癌において上皮成長因子受容体(EGFR)の遺伝子変異と強く関連する因子はどれか。

- a 男性
- b 日本人
- c 喫煙者
- d 飲酒歴
- e 家族歴

7. 閉眼しているが名前を呼ぶと容易に開眼し、眼球は左方に偏位し、発語は一切無く、左上下肢には合目的な運動があり、左手は離握手に応じるが右半身は完全麻痺であった。

この患者のJapan Coma Scale(JCS)とGlasgow Coma Scale(GCS)の組合せで正しいのはどれか。

- a JCS II-30 — GCS5(E3V1M1)
- b JCS II-20 — GCS5(E3V1M1)
- c JCS II-20 — GCS11(E4V1M6)
- d JCS II-10 — GCS10(E3V1M6)
- e JCS II-10 — GCS11(E4V1M6)

8. 疾患とリスクファクターの組合せで誤っているのはどれか。

- a 口腔癌 ——— 不適合義歯
- b 声帯麻痺 ——— 音声酷使
- c 下咽頭癌 ——— 飲酒
- d 睡眠時無呼吸 ——— 肥満
- e ポリープ様声帯 ——— 喫煙

9. 微生物と生物学的分類の組合せで正しいのはどれか。

- a クラミジア ——— 細胞内寄生菌
- b マイコプラズマ ——— 抗酸菌
- c トキソプラズマ ——— 真菌
- d ニューモシスチス ——— 原虫
- e クリプトコッカス ——— 嫌気性菌

10. 幼児の調節性内斜視に対し最初に行うのはどれか。

- a 片眼の遮蔽
- b 縮瞳薬の点眼
- c 矯正眼鏡の装用
- d 外直筋短縮手術
- e プリズム眼鏡の装用

「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切：平成28年 6 月30日(木)

◎原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル，氏名を先頭に付記して下さい。

◎掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。

◎掲載はおひとり 1 編とさせていただきます。

◎ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

◎原則として原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

◎原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

◎日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX，郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

メディアの目



東九州自動車道に思う

読売新聞 宮崎支局長

なが た やす ひろ
長 田 泰 弘

2度目の宮崎支局勤務が決まった2月末。北九州市の自宅で引っ越しの準備をしていたところ、「東九州自動車道の早期整備」と染め抜かれた手拭いが、タンスの奥から見つかった。20世紀の終わり頃だったか。最初の宮崎支局勤務時代、道路整備促進県民大会取材した際にいただいたことを思い出した。

そこで作業の手を止めて思案したのは、1か月後にマイカーで宮崎入りするルートだった。選択肢は東九州道か、西回りの九州道・宮崎道。さっそく距離を調べると、大分経由の東九州道の方が40*ほど短いことが分かり、迷うことなく東回りを選んだ。

引っ越し当日はまだ、福岡県内の一部が未開通だったが、自宅から約320*におよぶ行程は順調で、4時間余りで単身の新居に着いた。未開通区間も4月24日に通行が可能となり、所要時間はさらに縮まった。

しかし、私が次に帰省する際、また東九州道を使うかどうか、迷うところだ。なぜなら福岡、大分県内の一部を除く大半が片側1車線の対面通行で、安全面で不安を感じたからだ。中央線に沿ってウレタン樹脂のポールを設置した区間が多く、対向車がここを突破して向かってきた

ら避けるのは難しい。

東九州道が北九州市まで全線開通した3日後、門川町の対面通行区間で起きた事故は、私が抱いた不安を増大させた。緩やかなカーブでトラックと乗用車が正面衝突し、5人が死傷。付近は約3時間、全面通行止めとなった。

こうした事故が避けられないようだと、利用を敬遠する人がいても不思議はない。事故による全面通行止めのリスクが大きければ、時間の正確さを求められる場合の物流利用にも向かない。安全性の向上は、県民の暮らしや経済を支える大動脈に欠かせない要素だ。

抜本的な解決策は、対面通行区間を片側2車線にすることだ。しかし、西日本高速道路九州支社によると、今のところその計画はない。ならば、中央分離帯にガードレールや大きなコンクリートブロックを置けば良いと思うが、現在の構造が「暫定」のため、これら設けるスペースを取っていないという。

タンスの奥から見つかった手拭いは、私とともに16年ぶりに宮崎に戻った。今度は新居のクローゼットに収めたが、目に触れる度に「何かよい知恵はないか」と思いを巡らせている。

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 ー機能生化学分野ー



にしとう ひでき
西頭 英起 教授

宮崎大学に着任させていただいてから二度目の寄稿となります。初代・松尾壽之教授、二代目・中山建男教授の後任として平成24年に着任いたしました。

私は、東京医科歯科大学歯学部を卒業後(平成5年)、口腔外科にて臨床を経験した後、同・大学院歯学研究科博士課程を終了、同・助手、同・特任准教授、東京大学薬学部・特任研究員を経た後、宮崎大学に参りました。これまで、約20年にわたり生命科学の基礎研究に携わっております。その研究内容は、細胞が物理的・化学的・遺伝的な様々なストレスを受けた際に「どのような細胞内シグナルが発信されるのか?」「どのような細胞応答を示すのか?」また「その破綻がどのような疾患に繋がるのか?」についてです。超高齢化社会を迎えた我が国では、神経変性疾患をはじめとして病態分子メカニズムが不明な疾患が多く残されており、そのひとつひとつの克服が待たれています。そのようなニーズに少しでも貢献できるよう研究を進めるとともに、最先端の医療・研究に携わる医師・研究者の育成に努めて参りたいと考えております。これまで歯学部、薬学部に在籍しておりましたが、内科、外科、皮膚科、整形外科、泌尿器科などの臨床

の先生方が私どものグループに参加しており、ともに研究して参りました。現在も宮大神経内科の先生と共同研究させていただいております。これまでの疾患をターゲットとした研究と教育の経験を生かして、医学部の先生方、ならびに医師会の先生方のご指導とご鞭撻を賜りながら、さらに医学教育、医学研究に努めて参りたいと考えております。

当教室は4月1日現在、高見恭成准教授、門脇寿枝助教、村尾直哉助教、研究員2名、職員4名、大学院生1名、学部生3名の計14名が在籍しています。今後も、微力ながら教室員の先生の研究を更に発展できるよう、努力して参りたいと考えております。

ここ宮崎で美しい海と山そして美味しい食べ物と何より焼酎を日々満喫しております。東京にいた頃の毎日の通勤時間から開放されること、これほど毎日の生活にリラックスを与えるものかと日々充実した時間を過ごさせていただいております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

研究室ホームページ：<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/2bio/index.html>

(西頭 英起)

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(内 科 医 会)

こまき ひとし
小牧 斎 会長

平成26年4月に小牧斎先生が第10代県内科医会長に就任し、2年が経過し、平成28年4月より2期目を迎えることになりました。副会長は宮崎市から弘野修一先生、都城市から田口利文が2期目を務め、新しく延岡から副会長に石内裕人先生、常任理事に宮崎市の光川知宏先生を迎えて新体制がスタートしました。また、各地区の内科医会よりご推薦いただいた12名の理事と2名の監事の先生方も決まりました。内科医会には450名近くの先生方に会員として参加していただいております。しかし会員の高齢化と新規会員の減少により会員数はやや減少傾向にあります。当会の魅力をよりわかりやすく若い先生方にアピールしていく必要があると考えております。当会は会員相互の親睦を図ることはもちろん、学術の研鑽、医業経営の改善などを目的としており、その目的を達成するために各種委員会の先生方に部門ごとの事業を計画し、実施しております。学術委員会は学術の研鑽を目的として、学術講演会や研究研修会を企画しています。内科医会は幅広い分野の専門医の集まりでもありますので、出来るだけ偏らない講演会の開催に心がけておりますが、後援、共催の問題もあり、うまくいかない部分もあります。近々では平成28年6月11日に開催される宮崎県内科医会総会・学術総会で宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授 中里雅光先生に「新・内科専門医制度とは、地域医療への影響は」と題して、九州医

療センター肝臓センター部長 中牟田誠先生には「C型肝炎撲滅に向けて～特に難治症例に対する使い分け～」という講演をしていただく予定です。医療保険委員会は医業経営の改善、保険診療の改善、診療報酬改定時の要点の解説や説明、審査会の審査基準などの情報開示を行っています。会誌編集委員会の先生方には年2回会誌の発行をお願いしています。特集では最新の医療情報を掲載し、会員の投稿論文、Postgraduate Educationとして各分野の専門医の先生にわかりやすく疾患の解説をしていただいています。また、他科からの提言や会員の随筆もあり、内容は盛りだくさんです。内科医会には上部団体として一般社団法人日本臨床内科医会があります。診療報酬改定時には内科系保険診療報酬の向上を目的に厚労省への働きかけを行っています。今回の平成28年度の改定でも地域包括診療加算の要件緩和など、多くの要望が出されており認められたものも多くあります。もちろん宮崎県内科医会からの要望も臨床内科医会へ送られております。是非ご要望をお知らせください。今後の内科医会の取組みとして、超高齢化社会における医療提供体制づくりは重要な問題と考えられます。病院と診療所の関係、かかりつけ医の位置づけ(総合診療専門医の問題)、在宅医療(看取りを含む)これらの問題を研修会や講演会を行いながら、会員の取組みをサポートしていく必要があると考えます。以上今後とも本会の事業推進にご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

たぐち としふみ
(副会長 田口 利文)

都道府県医師会広報担当理事連絡協議会

と き 平成28年4月21日(木)

ところ 日本医師会館

石川常任理事の司会進行により開会后、挨拶があり議事に入った。

1 挨拶

横倉日医会長(代読：中川副会長)

熊本地震にて亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、日本医師会として全力でサポートしていくことを約束する。

今回の協議会は平成25年以来3年ぶりの開催であり、医療を取り巻く環境も大きく変化している。新専門医制度、控除対象外消費税、医療事故調査制度等のほか、厚労省以外の省庁からも医療をめぐる様々な提案がなされ課題は山積している。日本医師会として、これらの課題が国民の安全な医療に資する政策か、国民皆保険を維持できる政策かという二つの判断基準を基に対応していく。また、必要に応じて記者会見を行い、日本医師会の考え方を説明しているが、会員の先生方からは日本医師会の考えが十分に伝わってこないとの意見もあり、改めて広報活動の難しさを痛感している。日本医師会の組織強化を図るとともに、日本医師会の活動を国民に理解してもらうためにも広報の役割は今後益々重要になる。

2 講演

「スマホファーストな若者たち～世代別に見たコミュニケーション行動の変化～」

電通総研メディアイノベーションラボ統括責任者・メディアイノベーション研究部部長 奥 律哉



現在100世帯当たりテレビは211.3台、携帯電話230.7台(スマホ116.4台、ガラケー114.3台)となり、今やテレビより携帯電話の方が多く、一人2台持つことも珍しくない時代となっている。スマホ所有率は、男性10代～20代が約90%、女性10代～20代が90～95%で女性の方が高くなっている。1日当たりの自宅内メディア接触時間を調べ、2000年と2015年を年代別年齢別に比較してみると21歳～25歳ではテレビの接触率が5年間で約50%低くなり、インターネットやスマホゲームに変わってきている。また、かつてはテレビを見ながら新聞を読む「ながら視聴」が多かったが、最近の10～20代はテレビを見ながらネット・メール・SNSに触れているのがほとんどであり新聞はあまり読んでいない。

スマホでいつ何を見ているのかを利用ログから調査した結果、昼12時および20～21時がスマホ利用のピークであり、LINEやFB等のインスタントメッセージ、ソーシャルネットワーク、ゲーム利用率が多い。アプリ起動

回数では、年代全体では1日平均50回だが、10代女性では64.6回と最も多い。しかし、その半分はLINEやTwitterで占められており情報を得るためではなく、友人とのコミュニケーションツールとして利用されている。

「ニュース」という言葉はシニア世代と若者では捉え方が異なっている。若者にとっての「ニュース」は、自分の趣味や生活に密着した出来事であり、自分の身の回りの事だけを「ニュース」と捉えており、世の中の出来事ではなくなっている。利用しているメディアは40代を境にして30歳以下の若者ではネット系であり、シニア世代は新聞等のマスメディアである。今後10年経過すると30代が40代となり分水嶺も上がり、頼りにするメディアもそのまま右上がりになりシニア世代が追いやられることとなるため、現代の若者の特徴を正確にとらえておかないといけない。しかし、情報の高関与層から低関与層まで幅広く届くのは「地上波テレビ」であり、情報を得るのはネットで充分可能だが自然に触れて周知をするのはやはりテレビに勝るものはない。

3 日本医師会の広報活動について

石川広己日医常任理事

日医提供のBS放送番組、日医TVCM、定例記者会見、定例記者懇話会、新聞を使った意見広告等を引き続き行っていくとともに、あらゆる広報手段を使って、日医の考えや主張を国民に訴えていく。また全国統一したテーマにより都道府県医師会と協働した広報も展開していきたい。

4 広報委員会審議報告「広報委員会からの提言」

野津原嵩日医広報委員会委員長

「日医という組織を国民に理解してもらう方

策」と「日医の組織強化に向けた方策」を委員会で協議してきた。まず、国民が日医に対してどのようなイメージを持っているか調査を行った。その結果、日医という組織を国民は「なんとなく知っているが詳細は分からない」という状態であり、さらに少ない報道や昔のイメージ等から「有力な圧力団体のひとつ」「医師の利権確保を最優先にしている団体」という負のイメージを持っている国民が多くいることが分かった。しかし、日医の活動を認知していればいるほど、信頼度が高まっているという傾向も見られ、改めて日医の活動を国民に知ってもらうための広報が益々重要になると考える。これらの調査結果をふまえ以下の提言を取りまとめた。

1) 日医という組織を国民に理解してもらうために

- ①広報テーマを全国統一する
- ②世論形成に強い影響力を持つ方々を活用する
- ③広報に専門家の意見を取り入れる
- ④若手医師の意見を参考にする
- ⑤国民の関心事に注意を払う
- ⑥テレビの活用をさらに進める
- ⑦意見広告にも工夫を凝らす
- ⑧新たな広報手段を活用する

2) 日医の組織強化に向けて

- ①日医紹介の冊子を作成する
- ②人とのつながりをアピールする
- ③会費の使われ方について説明する
- ④入会促進に向けた広報を行う

出席者－荒木常任理事、牧野課長

平成27年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会

と き 平成28年 3 月24日(木)

ところ 日本医師会館

小森日医常任理事の司会により開会后、横倉日医会長の挨拶があり議事に入った。

議 事

1 生涯教育関連事項報告(小森日医常任理事)

平成26年度の単位取得者総数は113,281人(うち日医会員102,433人)で、日医会員単位取得率は61.7%、取得単位数+カリキュラムコード(以下、CC)数合計の平均は33.0となった。日医生涯教育認定証(平成24~26年度の3年間に単位数とCC数の合計で60以上を取得した方を対象に発行)は、4,744人に交付された。

指導医のための教育ワークショップについて、本年度は11都道府県が開催し、351名が修了した。これまでの修了者は計6,725名となった。本県では毎年12月に開催しており、これまでの修了者は350名である。

また、近年日医e-ラーニングの活用者数が増加しており、平成26年度は29,414名であった。これまでは正答率60%で0.5単位の付与とされていたが、新しい専門医制度を見据え、正答率80%とした上で、1CC1単位を取得できるものと制度が改められた。さらに、後述の通り日医生涯教育制度が平成28年度から変更となる。日医・各学会・日本専門医機構との交渉結果により、日医生涯教育制度認定講習会の中で一定の要件を満たしたものは、専門医の認定・更新に必要な単位も取得が可能となった。

2 生涯教育推進委員会報告

(倉本日医生涯教育推進委員会委員長)

専門医制度が新しくなった理由は、患者さ



んに信頼される医師の自立的な制度を確立することであり、同時にこれからの日本の医療を担っていく若いドクターのための制度である。若いドクターには専門医になってどのように社会に貢献できるのか熟考して欲しいし、地域のニーズにも敏感になってほしい。自分を律しながらやっていただきたい。

専門医機構としては専門医研修プログラムがない地域をなくそう、専門医がゼロの地域をなくそう、地域を強くしていこうとしているので、生涯教育推進委員会としてもそれに沿った形で動いてきた。

医療安全・感染対策・医療倫理に関するものについては必修として、7つの項目①医師の教育に関するもの、②医療事故・医事法制に関する事項、③医療経済(保険医療等)に関する事項、④臨床研究・臨床試験等に関する事項、⑤EBMに基づく医療に関するもの、⑥各専門医制度に含まれる最新の事項、⑦日本医師会の生涯教育講習を共通の項目として、5年に1回の更新では必ずそれを履修して知

識を新しくすることが必要であり、その手段として日医生涯教育が活用されることが望ましい。これにより生涯教育制度のカリキュラム2009が2016に改訂された。

総合診療部門について、専門医機構の指導医は「専門医を一回以上更新した人になることができる」ということになっている。しかしながら、総合診療部門についてはそのような専門医が存在しないため、都道府県医師会ないし郡市区医師会から《総合診療専門医専門研修カリキュラムに示される「到達目標：総合診療専門医の6つのコアコンピテンシー」について地域で実践してきた医師》として推薦された先生方に総合診療医を育てる役割を果たしていただきたい。

3 平成28年度からの日医生涯教育制度と全国的な研修管理システムの導入

(小森日医常任理事)

平成26年度の診療報酬改定において地域包括診療加算が要件化されたことに対し、現状は要件の対象となる講演会に関してリアルタイムの集計が実施できていない。この解決策の1つとしての全国的な研修管理システムを導入する予定である。

日本専門医機構の専門医の仕組みとの連携に関し、専門医の在り方に関する検討会報告書において、「専門医の認定・更新にあたっては、医の倫理や医療安全、地域医療、医療制度等についても問題意識を持つような医師を育てる視点が重要であり、日本医師会生涯教育制度などを活用することも考えられる」と記載された。これを受けて2014年7月、日本専門医機構が出した専門医制度整備指針(第1版)で、専門医の認定・更新に必要な教育研修実績の望ましいものに記載され、さらに専門医の資格更新に必要な単位に専門医共通講習があり、日医生涯教育制度の中で一定の要件を満たしたものは、その単位を取得できるもの

として認められた。

4 全国的な新研修管理システムについて—講習会管理と単位管理の連携—

(矢野日医総研主任研究員)

4月1日から運用を予定している全国医師会研修管理システムについて説明があった。主に各県・各郡市区等医師会事務局に対しての説明となり、既存の業務範囲でも出欠と単位管理が出来る仕組みをさらに発展させ、医師資格証を用いた生涯教育講習会の出欠・単位管理だけではなく、新たな要請への対応も含めて、医師会全体での講習会等の出欠・単位管理の統合管理システムの構築を目指すこととなった。

5 日医かかりつけ医機能研修制度について

(鈴木日医常任理事)

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修を平成28年4月1日から実施することとなった。研修内容については、基本研修、応用研修、実地研修という構成であり、基本研修は日医の生涯教育認定証の取得を要件とする。実地研修は16項目の中から2つ以上を実施すること、応用研修は日医が行う中央研修、関連する他の研修会、及び一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区医師会が主催する研修等の受講で、規定の座学研修を10単位以上取得することが要件となっている。シラバスに基づくテキストを用いた座学の研修会を中央研修会として年1回のペースで開催予定であり、3年かけてシラバスの全項目を網羅する必要がある。今後、修了申請の受付期間は、毎年12月～翌年1月とし、その後4月に修了証書・認定証の交付を行う、というスケジュールである。

出席者—小牧常任理事、川端主事

第5回日本糖尿病対策推進会議総会

と き 平成28年 3 月24日(木)

ところ 日本医師会館

3月24日、日本医師会館に於いて第5回日本糖尿病対策推進会議総会が開催された。

挨拶 横倉日本糖尿病対策推進会議会長

平成17年に日本糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本医師会の三者で設立した「日本糖尿病対策推進会議」は、その活動趣旨に賛同した団体が加入し、現在では18団体が構成され、また、各都道府県には「糖尿病対策推進会議」が立ち上がり、糖尿病対策に取り組んでいる。都道府県における医療計画作成にあたっては、厚生労働省が定める「糖尿病の医療体制構築に係る指針」の中で、糖尿病対策推進会議を活用するよう明示された。地域の実情に合わせた取組みが進むよう、引き続き尽力をお願いする。

講演

1 J-DREAMS 診療録直結型全国糖尿病データベース事業

国立国際医療研究センター

糖尿病研究センター長 植木浩二郎

国立国際医療研究センターと日本糖尿病学会が共同して、全国の病院・診療所に通院する糖尿病患者の大規模データベース「J-DREAMS」を構築する。これにより、糖尿病患者の状況、治療の実態の把握が可能となり、症例全体の情報を集計解析することで、糖尿病治療の質の向上を目的としている。

2 糖尿病疾病管理データベースに関する研究 —かかりつけ医の臨床データ構築に向けて— 日医総研研究部専門部長 江口成美



「J-DREAMS」が病院受診患者を対象とするのに対し、診療所受診患者を対象とした「糖尿病疾病管理データベース」を構築する。診療所でのデータ収集は、紙カルテ・電子カルテ施設両者を対象とし、現場での負担を最低限に抑える方向で考えている。また、日医の既存資源(データベース等)の利活用、既存の糖尿病研究事業に協力を依頼し、将来的には地域の重症化予防事業とのつなぎ役も果たし、大規模データベース構築による効果的な治療の促進、患者支援ツールの充実を目指す。

3 糖尿病性腎症重症化予防に係る最近の動向について

厚生労働省保険局国民健康保険課長

榎本健太郎

透析患者数は年々増加しており、人口透析にかかる医療費は年間約1.9兆円に上る。政府としても、医療費抑制に向けた国民の健康増進に力を入れている。現在、一部の自治体で進んでいる糖尿病性腎症重症化予防に向けた

取組みを全国に展開していく必要がある。会議終了後に、日医、日本糖尿病対策推進会議、厚労省の三者による「糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定」を締結し、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を定め、国レベルで取組みを進めていく。

4 健康・医療情報の活用による行動変容の実現に向けて

経済産業省商務情報政策局

ヘルスケア産業課長

江崎禎英

レセプトや健診データを活用した生活習慣病予防サービスの実証事業について、将来重症化が考えられる無関心層に対し、行動変容をおこす効果的な方法を検討している。「糖尿病」モデルは、本人の同意を得たうえで、レセプトデータや健診データに対象者が測定した日々の健康関連データをつなげ、それを臨床医等が活用し、対象者の行動変容を促す仕組みづくりを行う。日本糖尿病対策推進会議お

よび厚労省等関係省庁と連携し、平成28年夏頃から約半年間の実証を実施予定である。

5 埼玉県における市町村国保共同による糖尿病重症化予防

埼玉県糖尿病対策推進会議副会長

片山茂裕

埼玉県医師会、埼玉県糖尿病対策推進会議、埼玉県の共同で作成した「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」は、市町村が取組主体となり、国保加入者を対象に、特定健康診査とレセプトのデータを活用して、糖尿病が重症化するリスクの高い人を選定し、このうち、医療機関未受診者には受診を呼び掛け、通院中の人には、かかりつけ医と連携して保健指導を行い、透析への移行を防止するものである。平成28年度には、県下全市町村国保での展開を予定している。

出席者－金丸常任理事、畠中主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成28年5月1日より平成28年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

薬事情報センターだより (349)

免疫チェックポイント阻害薬

がん細胞はその発生や進展の過程で、免疫細胞から監視され排除されます。しかし、がん細胞がその増殖の過程で、免疫細胞の攻撃から逃れる機序について様々なメカニズムが存在することが明らかにされてきています。その中で、免疫細胞の活性化にブレーキをかける免疫チェックポイント機構が解明されてきました。現在分かっている免疫チェックポイントには、初期免疫段階のCTLA-4(cytotoxic t-lymphocyte-associated protein 4)、エフェクター段階のPD-1(programmed cell death-1)があります。

CTLA-4はCD28ファミリー(T細胞の活性化を補助的に正と負に制御する分子群)に属し、活性化したT細胞に発現する免疫抑制性補助シグナル受容体であり、樹状細胞などの抗原提示細胞に発現しているCTLA-4のリガンドB7(B7-1:CD80, B7-2:CD86)と結合することによってT細胞活性を鎮静化し過剰な免疫反応を抑制する働きをしています。

PD-1は、活性化したリンパ球(T細胞, B細胞及びナチュラルキラーT細胞)及び骨髄系細胞に発現するCD28ファミリーに属する免疫抑制性補助シグナル受容体です。PD-1は抗原提示細胞に発現するPD-1リガンド(PD-L1及びPD-L2)と結合し、リンパ球に抑制性シグナルを伝達してリンパ球の活性化状態を負に調節しています。PD-L1は樹状細胞のほか、血管や心筋, 肺, 胎盤などの正常細胞に幅広く発現している他, 数多くのがん細胞や抗原提示細胞などに発現しています。

免疫チェックポイント阻害薬は、これらの免疫チェックポイントを標的とした抗体医薬品であり、T細胞の活性化にブレーキがかかるのを阻害し、がんに対する免疫応答を維持・増強して抗腫瘍効果を発揮する医薬品です。現在、我が国で使用できる免疫チェックポイント阻害薬は、ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体ニボルマブ(遺伝子組換え)(オプジーボ点滴静注20mg・100mg)とヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体イピリムマブ(遺伝子組換え)(ヤーボイ点滴静注液50mg)です。

ニボルマブは、2014年7月に「根治切除不能な悪性黒色腫」を効能・効果として製造販売承認さ

れ、2014年9月に発売されました。2015年12月には、「切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌」の効能・効果が承認されました。海外においても、2016年2月現在、40以上の国・地域で承認されています。PD-1抗体であるニボルマブは、PD-1とPD-1リガンドとの結合を阻害することで、がん抗原特異的なT細胞の活性化及びがん細胞に対する細胞傷害活性を増強することで、抗腫瘍効果を発揮します。

イピリムマブは、2015年3月現在、51の国と地域で承認されていましたが、我が国でも、2015年7月に「根治切除不能な悪性黒色腫」を効能・効果として製造販売承認され、2015年8月に発売されました。CTLA-4抗体であるイピリムマブは、CTLA-4とそのリガンドとの結合を阻害することにより、活性化T細胞における抑制的調節を遮断し、腫瘍抗原特異的なT細胞の増殖、活性化及び細胞傷害活性の増強により腫瘍増殖を抑制します。

これらは、現在も、さらなる適応拡大に向けて開発が進められています。また、抗CTLA-4抗体と抗PD-1抗体は、それぞれ異なる免疫抑制経路を標的とするため、併用効果を期待する治験も行われています。さらに、この他にも様々ながん種に対する、様々な免疫チェックポイント阻害薬の臨床治験が進められています。

治療関連有害事象の発生は、一般的な抗がん剤よりも少ないとされていますが、過剰な自己免疫攻撃を防ぐ仕組みを阻害する作用機序であるため幅広い臓器に免疫関連の副作用が生じる可能性があり、免疫抑制の解除と自己免疫寛容の維持を両立する治療戦略の確立が期待されます。また、免疫チェックポイント阻害薬による有効性と安全性の予測法の確立も期待されます。

(参考資料)

免疫チェックポイント阻害薬の特徴と課題。
月刊薬事58(5),69-75.2016

適応拡大で注目集まる免疫チェックポイント阻害薬—その効果と副作用。日本医事新報No.4788,10-11.2016

免疫チェックポイント阻害剤および免疫制御抗体治療。医薬ジャーナル52(4),77-82.2016

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

日医インターネットニュースから

■多機関・多職種連携の構築を

— 日医・介護保険委員会 —

鈴木邦彦常任理事は、4月27日の定例記者会見で、介護保険委員会が会長諮問「地域包括ケアを構築するための多職種連携のあり方について～地域医師会を中心に～」を受け、鋭意検討を重ねた結果、「生活者を中心にいた地域医師会と地域行政による『多機関・多職種連携「プラットフォーム」』の構築」として取りまとめ、3月23日、野中博委員長（東京都医師会顧問）から横倉会長に提出したことを報告し、その概要を説明した。

同常任理事は、本答申書の骨子について、1. 地域包括ケアシステムは、地域の生活者の参画の下、各地域に見合った形で構築する必要がある、地域の生活者との接点が多い「かかりつけ医」の役割が、ますます重要になる、2. 地域包括ケアは、高齢者対策に限定せず、全てのライフステージで推進されるべきであり、特に少子高齢社会を支え、地域・社会貢献に参画できる「元気高齢者」を育成・支援する、3. 「かかりつけ医」の人材育成も含めて、地域医師会の関わりが重要であり、日医、都道府県医師会の適切な支援が求められる、4. 在宅医療や地域支援事業では、QOL(Quality of life)やQOD(Quality of death)の向上が重要であり、病院と「かかりつけ医」が協働して、「かかりつけネットワーク」を地域に根付かせ、生活者が適宜活用できる環境を整える必要がある—という4つの視点から取りまとめられていると説明した。

(平成28年5月10日)

■レセプト連結で社会保障費の効率化を

— 安倍首相が塩崎厚労相に指示 —

政府が5月11日に開いた経済財政諮問会議（議長＝安倍晋三首相）で、安倍首相は社会保障につ

いて「医療・介護分野における徹底的な見える化を行い、給付の実態や地域差を明らかにすることにより、より効果的で効率的な給付を実現していく」と述べた。その上で塩崎恭久厚生労働相に対し、医療・介護のレセプトデータを全国的に連結して社会保障給付費を効率化していくための具体案をまとめ、会議に報告するよう指示した。厚生労働省は今後、具体案の検討に取り組む。

また安倍首相は、5月中に「骨太の方針（経済財政運営と改革の基本方針）2016」をまとめる考えを示した。順調に進めば、政府は5月末に骨太を閣議決定するとみられる。

この日の諮問会議では、骨太の骨子を決定した。骨子は全体的な章立てのみを記しており、経済・財政一体改革の推進に向けて、「見える化」の徹底・拡大、先進・優良事例の展開促進などに取り組む方針を示している。社会保障分野での取組みについても、今後より詳細な内容が盛り込まれる見通しだ。また、成長と分配の好循環の実現に向け、「介護の環境整備等」の項目や、個人消費を喚起するための「健康長寿分野での新社会システムの構築」の項目などが入っている。

●自然増「エビデンスベースで検証を」

伊藤元重・学習院大教授ら民間議員は、骨太作成に向けた提言を諮問会議に提出した。医療保険給付（決算ベース）は直近3%超の伸びになっているとして、「伸びの要因を精査するとともに、予算編成に当たって過去の実績を踏まえた概算的な積み上げにとどまっている社会保障関係費の自然増をエビデンスベースで検証すべき」と主張している。例えば、人口要因や診療報酬改定の影響などを除いて、従来は「その他」に分類されていた伸びの要因について、受診動向の変化などに着目した分析や、地域差の分析が必要との認識を示している。（平成28年5月13日）

■ジカ熱対応で緊急決議、注意喚起など — WMA 理事会 —

世界医師会(WMA)は4月28日から3日間、アルゼンチンのブエノスアイレスで理事会を開き、ジカ熱の流行を防ぐため、関係機関に流行地域での注意喚起や蚊の駆除方法の有効性に関するデータ収集などを促す緊急決議を採択した。日本医師会の石井正三常任理事が11日、会見で報告した。

世界保健機関(WHO)はジカウイルス感染について、地球規模での健康に対する緊急事態であると指定。これを受け、理事会ではWHOなど関係機関に対して流行地域での注意喚起を求めたほか、各国政府に診断検査、抗ウイルス薬、ワクチン開発の継続と入手可能な価格の設定を進めるよう求めた。

また、理事会ではトルコ医師会が提出した難民と移民に関する決議を採択。国際社会は、いまだに医療ニーズをはじめとした難民への危機対応が不十分だと指摘した上で、各国政府などに、全ての難民が適切な医療と安全な住環境を確保できるよう求めた。

理事会は日医役員から松原謙二副会長、石井常任理事が出席。横倉義武会長は熊本地震の対応を優先させて欠席した。(平成28年5月17日)

■高額薬剤問題、具体的議論に着手 — 中医協総会 —

高額薬剤が医療保険財政に与える影響が5月18日の中医協総会で大きな議論になった。日本製薬団体連合会の野木森雅郁会長は「適切な使用

方法で、本当に使ってよい患者さんにきちっと使うことが必要」と適正使用の重要性を語り、保険局医療課の中井清人薬剤管理官は、対応策を講じるため早期に具体的な議論に着手する姿勢を示した。薬価ルールだけでなく、適正使用の推進も含めた対応策について具体的な検討が進みそうだ。

増税改定へ向けた薬価調査と、16成分27品目を了承した薬価収載の議論のどちらの場面でも高額薬剤が取り沙汰され、この問題への関心の高さが浮き彫りになった。

●超高額医薬品問題は製薬企業が自主的に

日医の中川俊男副会長は小野薬品工業の抗PD-1抗体「オプジーボ」が、腎細胞がんなどで効能追加の承認申請中のほか、さらに複数の効能拡大に向け治験が進んでいる状況を語り、「超高額医薬品へのスタンスを、製薬企業が自主的に考えてほしい」と、業界に投げ掛けた。

診療側の安部好弘委員(日本薬剤師会常務理事)は「個別の医薬品の高い安いの議論は、中医協では限界がある」と言及。これには中川副会長が「むしろ逆。一つ一つの品目について、丁寧に薬価を決めていく作業が、より重要だ」と反論した。中川副会長はまた「薬がよければ(保険収載も)よいという仕組みでは(制度が)持たない」と主張。早急な薬価算定ルールの見直しが必要とした。

さらに、日医の松本純一常任理事が、より実効的な議論を求めたことに対し、中井薬剤管理官は「できる限り早く具体的な議論ができるようにしたい」と回答。薬価ルールだけでなく新薬の適正使用を念頭に置いた議論になりそうだ。

(平成28年5月20日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

お知らせ

第17回 宮崎県医師会医家芸術展

「会員先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」をテーマに、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、本年も県立美術館にて開催いたします。

前は、1,629名の皆様にご来場いただき、大変ご好評をいただきました。

今年は下記の日程で開催いたします。

また、出品作品を募集しておりますので、会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

展示期間：平成28年 8 月10日(水)～14日(日) 午前10時～午後 6 時(14日(日)は午後 3 時まで)

※当初、12日(金)は休館日の予定でしたが、開館いたします！

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2
(宮崎市船塚 3-210 県総合文化公園内)

部 門：書道、絵画、写真

出 展 者：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

作品募集中！

応募用紙を送付しますので、出品をご希望される宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)の方は、下記までご連絡ください。出品者名、出品部門(書道、絵画、写真)、作品の点数・サイズ等必要事項をご記入いただきます。

※作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いいたします。

※来場者が作品を撮影することがありますので、ご了承ください。

問合せ先：宮崎県医師会 宮崎県医師国民健康保険組合 医家芸術展事務局

TEL 0985-22-6588・FAX 0985-27-6550

公 示

宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿

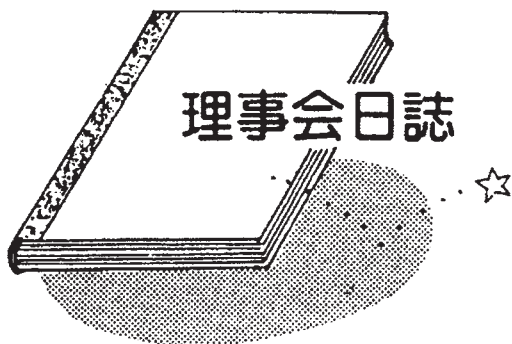
【任期】平成28年 6 月18日の定例代議員会終結後～平成30年 6 月の定例代議員会終結時

役職名	氏 名	所属郡市医師会	再任 新任	役職名	氏 名	所属郡市医師会	再任 新任
代議員会 議 長	飯田 正幸	都城市北諸県郡医師会	新	理 事	帖佐 悦男	宮崎大学医学部医師会	新
代議員会 副 議 長	島田 雅弘	南 那 珂 医 師 会	新		嶋本 富博	宮 崎 市 郡 医 師 会	新
会 長 候 補 者	河野 雅行	宮 崎 市 郡 医 師 会	再	監 事	赤須 巖	延 岡 市 医 師 会	再
	富田 雄二	西都市西児湯医師会	再		中村 周治	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
副 会 長 候 補 者	濱田 政雄	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		小牧 文雄	都城市北諸県郡医師会	再
	立元 祐保	宮 崎 市 郡 医 師 会	再	裁定委員	楠元 正輝	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
理 事	吉田 建世	延 岡 市 医 師 会	再		千阪 治夫	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
	小牧 齋	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		貴島 亨	都城市北諸県郡医師会	再
	荒木 早苗	宮崎大学医学部医師会	再		井上 博	延 岡 市 医 師 会	新
	池井 義彦	西 諸 医 師 会	再		浦上 裕	日向市東臼杵郡医師会	再
	金丸 吉昌	日向市東臼杵郡医師会	再		糸井 達雄	児 湯 医 師 会	再
	佐々木幸二	都城市北諸県郡医師会	再		宇和田 収	西都市西児湯医師会	再
	高村 一志	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		山口 和彦	南 那 珂 医 師 会	再
	峰松 俊夫	南 那 珂 医 師 会	再		立山 洋司	西 諸 医 師 会	再
	川野啓一郎	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		興梠 知子	西 臼 杵 郡 医 師 会	再
	佐藤 信博	延 岡 市 医 師 会	再		石田 康	宮崎大学医学部医師会	再
	佐々木 究	宮 崎 市 郡 医 師 会	再	日 医 代 議 員	河野 雅行	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
	岩村 威志	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		富田 雄二	西都市西児湯医師会	再
	米澤 勤	児 湯 医 師 会	再		濱田 政雄	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
	糸数 智美	宮 崎 市 郡 医 師 会	再		立元 祐保	宮 崎 市 郡 医 師 会	再
	石川 智信	宮 崎 市 郡 医 師 会	新	日 医 予 備 代 議 員	飯田 正幸	都城市北諸県郡医師会	再
	花田 武浩	西 諸 医 師 会	新		島田 雅弘	南 那 珂 医 師 会	新
					吉田 建世	延 岡 市 医 師 会	新
					佐藤元二郎	西 臼 杵 郡 医 師 会	新

平成28年 5 月24日 第163回臨時代議員会で選任

※平成28年 6 月18日の臨時理事会で会長候補者・副会長候補者を会長・副会長に選定

※平成28年 6 月18日の臨時理事会で理事の中から常任理事を選定



平成28年 4 月12日(火)第 2 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 5/27(金)第 6 回ワークショップ「会員の倫理・資質向上を目指して一都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理」の開催について

医療事故調査制度をテーマに議論を行った後、「高齢者の終末期医療」等をケーススタディとして取り上げる予定のワークショップで、立元常任理事が出席することが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

- ①社会福祉法人宮日母子福祉事業団評議員の留任について

→任期満了に伴う推薦依頼で、先方の要望もあり、引き続き河野会長を評議員とすることが承認された。

- ②介護給付費審査委員会サービス担当者代表委員の推薦について

→介護給付費の適正な審査を目的に設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元常任理事を推薦することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4/9(土)(長崎)九医連常任委員会について

3. 4/9(土)(県医)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について
4. 3/30(水)(日医)都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会について

平成28年 4 月19日(火)第 3 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

日医が例年同様クールビズ等の対応を行うことから、本会でも 5 月 1 日～10 月 31 日の 6 か月間、地球温暖化防止に向けて夏の軽装に取り組むことが承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

- ①社会福祉法人宮日母子福祉事業団評議員の推薦について

→任期満了に加え県小児科医会長が交代したことによる推薦依頼で、県小児科医会に確認した上で、推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①10/29(土)・30(日)第 7 回九州在宅医療推進フォーラム開催の後援のお願いについて

→九州各県持ち回りにより、今年度は、「終末期医療の現場から～欧米に寝たきり老人はいない～」を特別講演に、沖縄県宮古島で開催される研修会で、名義後援を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 熊本地震に対する対応について(4 月 19 日現在)
3. 4/13(水)(県医)保育事業打合せ会について
4. 4/14(木)(県医)広報委員会について
5. 4/18(月)(県医)県臨床研修運営協議会について

医師連盟関係**(議決事項)****1. 宮崎県医師連盟執行委員の推薦について**

県医師連盟規約第13条2項により、郡市医師連盟毎に、会員数割で選出される32名及び衆議院小選挙区毎に選出される3名の執行委員の推薦依頼を発出することが承認された。

2. 「自見はなこ」日本医師連盟参与の支援活動について

6月3日に自見はなこ参与が来県するのに合わせ開催する連盟大会の案内及びサポーターの獲得について提案が行われ、獲得目標値及びポスター等の関係ツールを加えた上で、会員に再案内することが承認された。

平成28年 4 月26日(火)第 1 回全理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 母体保護法指定医師の更新申請について**

県医師会母体保護法に関する規程等により2年毎の更新が定められているもので、47名の更新について承認された。

2. 九州医師会連合会諸会議(6月4日(土)長崎市)

①九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議、②九州医師会連合会常任委員・九州ブロック次期日医代議員協議会、③九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議の開催について

新旧の県医師会長及び日医代議員が対象となる会議で、各県医師会および日医代議員は6月に改選時期を迎えるが、質問等については、締切の関係等もあり、河野会長及び次期日医代議員に一任することが承認された。

3. 6/25(土)・26(日)第137回日本医師会定例代議員会並びに第138回日本医師会臨時代議員会の開催について

5月24日に役員選挙が行われる次期日医代議員が対象となる会議で、決まり次第、日医に報告することが承認された。

4. 7/1(金)(長崎県)平成28年度(第38回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

5月24日に役員選挙が行われる次期県医師会長が対象となる会議で、質問等については、締切の関係等もあり、河野会長に一任することが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

①平成28年度宮崎県学校保健会役員の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、県学校保健会の理事に富田副会長と高村常任理事、監事に糸数理事、評議員に吉田常任理事を推薦することが承認された。

②「宮崎県健康づくり推進協議会」委員の推薦について

→県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を検討するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長を推薦することが承認された。

③たばこ対策検討会委員の推薦について

→未成年者の喫煙防止及び禁煙支援について協議することを目的に設置される検討会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き吉田常任理事を推薦することが承認された。

④宮崎県地域・職域連携推進協議部会の委員任期満了に伴う推薦等について

→宮崎県健康づくり推進協議会の部会として設置される協議部会で、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

⑤宮崎県メディカルコントロール協議会委員の推薦について

→消防防災に関する救急業務の問題を検討する協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き富田副会長と小牧常任理事を推薦することが承認された。

6. 後援・共催名義等使用許可について

①認定アスレティックトレーナー養成講習会 の名義後援申請について

→スポーツに親しむ方の健康管理等を行うスタッフの確保等を目的に開催される講習会で、名義後援を行うことが承認された。

②10/8(土)・9(日)(延岡市)「リレー・フォー・ ライフ・ジャパン2016宮崎・のべおか」に 関する後援名義使用願いについて

→日本対がん協会が主体で、がん患者及びがん経験者等が中心となり、がん征圧の大切さを社会に訴えるチャリティーイベントで、名義後援を行うことが承認された。

7. 平成28年度「宮崎県医療功労者知事表彰」候補者の推薦について

医療及び医療の推進に精励し、格段の功績があった方に対して贈られる表彰で、郡市医師会に照会した上で、6名の方を推薦することが承認された。

8. 平成28年度医療機関経営セミナーの開催について

医業経営に係る税制・税務の理解を深めることを目的とする研修会で、日本医師会の要請に呼応し、本県においても、日本医師会、TKC医業・会計システム研修会との共催で、開催する方向で検討を進めることが承認された。

9. 県医師会代議員会及び総会等について

日程及びスケジュール等の確認が行われ、改めて理事会(5/24, 6/7, 6/18)、代議員会(5/24臨時, 6/18定例及び臨時)、総会(6/18)を開催することが承認された。

10. 会費減免申請について

20年以上在籍かつ満年齢80歳に達するとし、高齢に伴う県医師会の会費減免1名が承認された。

11. 平成28年熊本地震の被災医療機関等に対する支援金のお願いについて

日本医師会の趣旨に賛同し、本県においても支援金受付口座を開設し、全会員に対して支援金を募ることが承認された。

12. 5/12(木)(福島県)平成28年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)の開催について

「蘇生ガイドライン2015の推奨に基づく救急業務(口頭指導、特定行為のプロトコル等)とメディカルコントロール体制」等について発表や討論を行う連絡会で、小牧常任理事が中心となり、救急担当で出席を検討することが承認された。

13. 10/5(水)・6(木)(日医)第60回社会保険指導者講習会の開催日程について

生涯教育活動の一環として「アレルギー疾患のすべて」をメインテーマに開催される講習会で、日医への参加者及び宮崎県で行われる復講等の企画等については、当面の間、小牧常任理事が中心となり検討を進めることが承認された。

14. 業務委託について

①平成28年度県認知症地域医療支援事業の業務委託契約について

→主に「認知症サポート医スキルアップ研修」、「かかりつけ医認知症対応力向上研修」、「みやざきオレンジドクター普及(指定)」、「医療従事者向け認知症対応力向上研修」の4つを行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②平成28年度産業医研修事業に係る業務委託について

→産業医学振興財団が厚労省の補助金を受

け、産業医研修会及び産業医研修連絡協議会の開催を委託する業務で、委託契約を締結することが承認された。

15. 「みやぎき東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト」講演会の開催について

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部の平田竹男事務局長を講師に招き開催される講演会で、佐藤理事が出席すること及び広報活動に協力することが承認された。

16. 5/20(金)(日医)平成28年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会の開催について

「医療事故調査制度、勤務医の意見等を吸い上げるためのフレームワーク」をテーマに開催される連絡協議会で、岩村理事が出席することが承認された。

17. 5・6月の行事予定について

5月の追加行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 4/13(木)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 4/14(木)(東京)消費税問題古川衆議院議員、江藤衆議院議員、長峯参議院議員へ要望について
3. 4/14(木)(日医)日医生命倫理想談会について
4. 4/19(火)(日医)故 坪井榮孝元日本医師会会長お別れ会について
5. 4/20(水)(宮銀第一ビル)後期高齢者医療の保険者再審査の状況について
6. 水銀血圧計等の保有状況等に関する調査結果について
7. 4/21(木)(日医)日医公衆衛生委員会について
8. 4/20(水)(県医)九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せについて
9. 熊本地震に対する対応について(4月26日現在)

10. 4/21(木)(日医)都道府県医師会広報担当理事連絡協議会について

11. 4/22(金)(県医)広報委員会について

12. 4/23(土)(県医)地域包括ケアに関する講演会について

13. 4/22(金)(野崎病院)県認知症疾患医療センター合同会議について

14. 4/25(月)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

15. 3/11(金)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について

16. 3/23(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について

17. 3/31(木)(県医)スプリンクラー等の施設整備に係る補助制度説明会について

18. 3/14(月)(県庁)県精神科救急医療システム連絡調整委員会について

19. その他

- ① 4/26(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会(報告事項)

1. 4/26(火)(県医)医協理事会について
医師連盟関係

(議決事項)

1. 自由民主党宮崎県支部連合会党紀委員会委員の推薦について

自由民主党宮崎県支部連合会から、県医師連盟(医療会支部)に要請があったもので、総務会等の関係も確認した上で、河野委員長が引き受けることが承認された。

2. 5/12(木)(東京)敬人会夕食勉強会のご案内について

「21世紀成熟国家日本の社会保障」をテーマに開催する勉強会であるが、スケジュールの関係で断ることが承認された。

3. 5/14(土)(松下新平宮崎事務所)総務副大臣 内閣府副大臣参議院議員松下新平事務所開きについて

7月に予定される第24回参議院議員選挙に向けた事務所開きで、出席が可能な役員は事務局まで申し出ることとし、役員で調整できない場合は事務局対応とすることとなった。

4. 日本共産党演説会のご案内について

日本共産党の穀田恵二国会対策委員長を招き開催される演説会で、参加を希望する役員は事務局まで申し出ることとなった。

医師連盟関係

(報告事項)

1. 4/21(木)(宮観ホテル)清山会総会・懇親会について

5月のベストセラー（宮崎県）

集計：2016年5月1日～5月26日

1 羊と鋼の森	宮 下 奈 都	文 藝 春 秋
2 天才	石 原 慎 太 郎	幻 冬 舎
3 感情的にならない本	和 田 秀 樹	新 講 社
4 世界から猫が消えたなら	川 村 元 気	小 学 館
5 田中角栄100の言葉	別 冊 宝 島 編 集 部	宝 島 社
6 君の臓腑をたべたい	住 野 よ る	双 葉 社
7 カエルの楽園	百 田 尚 樹	新 潮 社
8 64㊤㊦	横 山 秀 夫	文 藝 春 秋
9 嫌われる勇気	岸 見 一 郎	ダイヤモンド社
10 夢幻花	東 野 圭 吾	PHP 研 究 所

県 医 の 動 き

(5月)

6	(日医)日医財務委員会(富田副会長)	20	(日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会(金丸常任理事他) 医師協同組合会計監査(富田理事長他) 広報委員会(荒木常任理事他)
7	日医生涯教育協力講座セミナー(会長他)	21	医療メディエーター養成研修会導入編 (富田理事長他)
9	県内科医会学術委員会(小牧常任理事)	22	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会 (日医TV会議)
10	「熊本地震」日医・九州各県医師会によるテレビ会議(TV会議)(会長) 治験審査委員会(富田副会長他) 県臨床研修・専門研修運営協議会WG (金丸常任理事) 第4回常任理事協議会(会長他) 医協理事会(富田理事長他)	23	医協打合せ会(立元副理事長) (都城市北諸県郡医師会館)産業医研修会 医師国保組合理事会(秦理事長他)
11	産業医研修会 支払基金幹事会(会長) 病院部会・医療法人部会理事会 (池井常任理事他)	24	第1回理事会(会長他) 第2回全理事協議会(会長他) 県医臨時代議員会(会長他) 母体保護法指定医師審査委員会 (富田副会長他)
12	(福島)全国メディカルコントロール協議会連絡会(米澤理事) 産業医研修会 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長)	25	(東京)全国医師国保組合連合会代表者会 (秦理事長) 県移植推進財団理事会(濱田副会長) 労災診療指導委員会(川野理事) 産業医研修会 (都城市北諸県郡医師会館)都城市北諸県郡医師会定時社員総会 医療事故調査支援委員会常任委員会(会長他)
13	(東京)社会保障審議会医療保険部会療養費検討専門委員会(会長) (東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)ヒアリング(富田副会長)	26	県医監事監査(会長他)
15	県小児科医会役員会(高村常任理事他)	27	(日医)日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」(立元常任理事) 勤務医部会総会・前期講演会(富田副会長他) 県内科医会理事会(小牧常任理事)
16	勤務医部会監査 広報委員会(荒木常任理事他) 勤務医部会理事会(富田副会長他)	28	死体検案研修会(会長他)
17	第5回常任理事協議会(会長他)	30	(都城圏地域地場産業振興センター)産業医研修会 県整形外科医会会計監査 県内科医会評議員会(小牧常任理事) 学校医部会理事・評議員会(会長他)
18	県産婦人科医会献金委員会(濱田副会長)	31	宮崎東京オリンピック・パラリンピックおもてなしプロジェクト講演会(佐藤理事) 県地域医療構想策定委員会(富田副会長他) 医協理事会(富田理事長他) 第6回常任理事協議会(会長他)
19	日医連今村定臣常任執行委員都市看護学校訪問(各都市看護学校) (延岡市中小企業振興センター)産業医研修会 (日医)日医医療IT委員会(荒木常任理事) 基金事業(医師確保分)に関する検討会 (富田副会長) 在宅医療研修会企画小委員会(牛谷常任理事)		

追 悼 の こ と ば

都城市北諸県郡医師会

中山民男 先生

(大正13年10月 4 日生 93歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き中山民男先生のご葬儀が執り行われるにあたり、先生のご霊前に、都城市北諸県郡医師会を代表し心より謹んで、お別れの言葉を申し上げます。



先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてされました。

先生は、今年に入ってから体調を崩され、3月には都城市郡医師会病院に3週間ほどご入院され、その後、ご自宅で療養をされていると伺っておりましたので、私ども会員一同、一日も早いご回復を念じておりました。

しかし、先生は奥様やご家族の手厚い看護にもかかわらず、去る5月4日の午前0時51分に帰らぬ人となりました。私は突然の訃報を受け、にわかには信じられず、驚く他ありませんでした。

先生の急逝の知らせは、程なく全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、奥様をはじめ、ご家族、ご遺族の皆様方のお悲しみは、如何ばかりかとお察し申し上げます。会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、大正13年10月4日、五人兄弟の長男として、都城市にお生まれになりました。長じて医学の道を志し、昭和26年に九州大学医学部をご卒業され、同大学医学部附属病院にて実

施修練を積まれ、その後、同大学医学部産婦人科学教室に入局し、医師としてのスタートを切られました。昭和34年5月には国立大村病院産婦人科に勤務、医長に任じられ、昭和36年9月には同病院研究検査科医長を兼任され研鑽を積まれました。昭和37年には地域医療に貢献されるべく、都城市前田町に「中山産婦人科医院」を開業されました。以来、今日まで、50年以上の永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上にご尽力されてされました。これまでのご功績に対し、医療功勞として、平成7年に宮崎県知事表彰、公衆衛生功勞として平成16年に日本公衆衛生協会長表彰、平成18年には厚生労働大臣表彰を受けておられます。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会理事を昭和51年から12年間、労務福祉や開業、会計等を担当されました。また、当医師会が運営しております介護老人保健施設すこやか苑の施設長を平成15年2月から8年8か月の間お引受けいただき、多大なるご尽力をいただきました。

先生は、看護師の養成にも積極的に取り組み、都城看護専門学校の講師を15年間務められました。また、実習施設として現在もなお、看護学生の受入れのご協力をいただいております。

また、宮崎県立都城西高等学校の学校医を昨年末まで45年間もの永きにわたり務め、生徒の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し、学校保健功勞として、平成3年に都城市教育長表彰、平成8年に宮崎県教育長表彰を受賞されておられます。

先生は、お子様がお二人おられますが、長男の郁男先生が先生の後継者として立派にご意志を継いで地域医療に取り組まれておられ、先生もさぞかしご安心のことと思います。

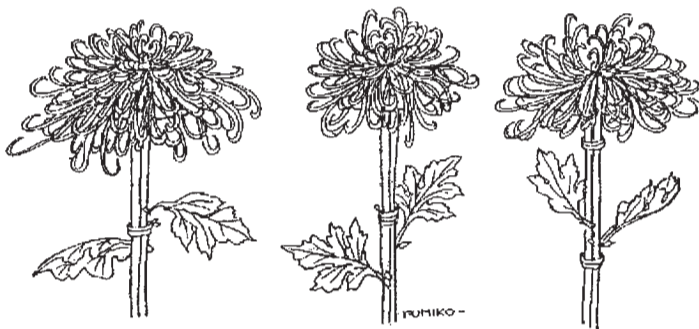
先生は、中学、高校生時代は柔道に励まれ、インターハイに出場するほどの腕前だったと伺っております。開業してからは、患者さんのため、地域のためと診療一筋に生きてこられたとも聞いております。先生、これからは、遥か浄土より、お好きなビールを飲みながら、ご家族の安泰とご繁栄、そして医師会の発展を末永く見守りください。

最後に、先生がこれまで地域医療に捧げられましたご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

平成28年5月7日

都城市北諸県郡医師会

会長 飯 田 正 幸



ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成28年 5 月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	3	0
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 53人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 28 年 度	2	0	2
平成16年度から累計	39	14	53

3. 求人登録 93件 329人 (人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	112	83	29
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	1	0	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	0
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	0
泌 尿 器 科	1	0	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	0
在 宅 担 当 医	1	1	0
そ の 他	30	26	4
合 計	329	265	64

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外,整,放,麻,内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮 崎 市	乳外,放,内,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼,神内,眼,総診,呼外, 臨病,乳外,整外,麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内,内分泌内,呼内, リウマチ,神経内,健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内,放,在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内,神内,整,消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	内(緩和ケア),消内,呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内,外,整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化,麻,循,リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内,外,救急,呼外,婦人,整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内,整,リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内,精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内,呼内,消化器内,健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内,神内,外,整外,脳外, リハ,麻酔,救急,緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外,形成外,外,麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230174	医)常聖会 巴外科内科	宮 崎 市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮 崎 市	内,小,整	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮 崎 市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤・非常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮 崎 市	内	1	常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内,救急,放射,脳外,外, 眼,透内,皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都 城 市	内,呼内,総診	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼内	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医) 魁成会 宮永病院	都 城 市	内, リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医) 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内, 透, 循内, 救急, 放射, 病理, 呼内, 精	16	常勤
230172	医) 静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム	三 股 町	内	1	常勤
230179	医) 与州会 柳田クリニック	都 城 市	外	1	非常勤
160012	医) 伸和会 共立病院	延 岡 市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外, 内, 緩和ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医) 中心会 野村病院	延 岡 市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整, 内, 総診, 麻, 眼, 健診, 循, 脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外	2	常勤
150002	医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内, 外, 整	4	常勤・非常勤
150003	医) 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, リハビリ, 在宅医療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医) 秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医) 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総診, 放	5	常勤
180076	医) 友愛会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医) 浩然会 内村病院	小 林 市	精, 内	3	常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医) 三和会 池田病院	小 林 市	脳外, 内, 放射, 外, リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医) 高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 28 年 5 月 13 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2022.17m ² (593.57坪) 所有者: 児湯医師会 (医) 松雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83m ² (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74m ² } 1,400.48m ² (424.38坪) 2階 547.79m ² } 3階 177.95m ² } ※別途駐車場あり(20台) 所有者: 西都市西児湯医師会 医師会跡
2. 譲渡又は賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地: 1,991.34m ² (603.43坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41m ² } 1,109.76m ² (336.29坪) 2階 638.35m ² } ※駐車場あり(30台) 所有者: 西諸医師会 (医) 産婦人科 生駒クリニック

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@mizakaki.med.or.jp

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	a, c	c	b, c, d	c	b	d	b	a	c

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 5 月31日現在

6			月		
1	水	15:00 性暴力被害者支援のための連絡協議会 19:00 県警察医会協議会	15	水	19:00 医家芸術展世話人会
2	木	15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会	16	木	17:00 県アイバンク協会理事会 19:00 園医部会理事会
3	金	13:30 県医療介護推進協議会 15:00 県医療審議会 19:00 県医師連盟大会	17	金	19:00 広報委員会
4	土	15:00 九医連常任委員・九州各県医師会次期会長合同会議 16:10 九医連常任委員・九プロ次期日医代議員協議会 17:40 九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議	18	土	14:30 医協総代会 15:05 県医連執行委員会 15:40 県医定例代議員会 16:10 第3回理事会 16:20 県医臨時代議員会 17:00 県医総会
5	日	15:00 横倉義武日医会長候補選挙対策本部事務所開き・決起大会	19	日	
6	月	19:00 情報システム小委員会 19:30 日本産科婦人科学会専門医制度宮崎地方委員会	20	月	19:00 県内科医会会誌編集委員会 19:00 在宅医療研修企画小委員会
7	火	14:30 オレンジドクタープレート交付式 18:00 治験審査委員会 19:00 第2回理事会	21	火	15:00 県学校保健会理事・評議員会 18:20 医協打合せ会 19:00 第8回常任理事協議会
8	水	15:00 県健康づくり協会理事会 15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 16:00 支払基金幹事会	22	水	12:30 宮大経営協議会・学長選考会議 19:00 医師国保組合定例事務監査
9	木	19:00 病院部会・医療法人部会合同総会 19:30 県産婦人科医会常任理事会	23	木	18:30 児湯医師会定例総会
10	金	13:30 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 17:30 宮大医学部附属病院マッチング説明会&基幹型病院説明会	24	金	17:00 西諸医師会定時総会 18:00 九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 19:00 広報委員会 19:00 宮崎市郡医師会予防接種勉強会(TV会議)
11	土	9:00 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 14:30 産業医研修会(実地) 15:00 日向市東臼杵郡医師会定時総会 16:00 県内科医会総会・学術講演会	25	土	9:00 (日医)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医定例代議員会 13:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 14:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会 16:00 専門医プログラム合同説明会
12	日	8:00 日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	26	日	9:00 (日医)九州ブロック(次期)日医代議員連絡会議 9:30 (日医)日医臨時代議員会
13	月	19:00 県医師会医学会役員会 19:30 県糖尿病対策推進会議小幹事会	27	月	19:00 西都市西児湯医師会定時総会 19:00 県有床診療所協議会役員会
14	火	19:00 第7回常任理事協議会	28	火	18:15 医協理事会 19:00 第9回常任理事協議会
			29	水	15:00 労災診療指導委員会 19:30 延岡市医師会総会
			30	木	19:00 産業医部会理事会

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 5 月31日現在

7			月			
1	金	17：00 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議	15	金	19：00 広報委員会	
2	土	県外科医会理事会	16	土	14：30 産業医部会総会・研修会（TV会議）	
		15：00 県整形外科医会評議員会			15：00 女性アスリート診療のための講習会	
		15：30 県外科医会総会			15：40 九州医師協同組合連合会購買・保険部会	
		15：30 県整形外科医会総会				
		16：10 労災部会総会	17	日	10：00 レジナビフェアin東京	
17：00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会						
3	日	10：00 レジナビフェアin大阪	18	月	（海の日）	
4	月		19	火	19：00 第11回常任理事協議会	
5	火	18：30 第3回全理事協議会	20	水		
		19：00 県福祉保健部・病院局との意見交換会	21	木	15：00 （日医）日医医療情報システム協議会運営委員会	
		19：30 県福祉保健部・病院局との懇談会			19：00 医師国保組合通常組合会	
6	水		22	金	13：00 九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会	
7	木					
8	金	9：30 全国自治体病院協議会九州地方会議			23	土
9	土	九医連常任委員会	24	日		
		九州医連連絡会常任執行委員会	25	月	19：00 広報委員会	
		11：30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会	26	火	19：00 第12回常任理事協議会	
		13：30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会	27	水	15：00 労災診療指導委員会	
			28	木		
10	日	九医連常任委員会視察	29	金		
11	月	19：00 医師国保組合理事会	30	土	9：00 医療メディエーター養成研修会基礎編	
12	火	18：00 治験審査委員会			13：00 男女共同参画フォーラム	
		19：00 第10回常任理事協議会			14：00 全国有床診療所連絡協議会総会	
13	水	16：00 支払基金幹事会	31	日	9：00 全国有床診療所連絡協議会総会	
14	木	19：30 県産婦人科医会常任理事会			9：00 医療メディエーター養成研修会基礎編	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko @ miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985 - 27 - 6550

TEL : 0985 - 22 - 5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX：0985-27-6550

ま
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
循環器疾患検討会 特別講演会 6月1日(水) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル	百寿者から超百寿者調査へーヒト長寿科学のご紹介 慶応義塾大学医学部百寿総合研究センター 特別招聘教授 広瀬 信義	19 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 循環器疾患検討会 ◇共催 ※エーザイ(株) ☎0985-26-2676
宮崎県医師会産業 医研修会 6月1日(水) 19:00～21:00 県医師会館	作業現場における暑熱環境対策 宮崎県立看護大学・大学院教授 産業保健相談員 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 31 (0.5) 32 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 6月2日(木) 14:00～16:00 県医師会館	ストレスチェック実施方法と「実施プログラム」の概要について 産業保健相談員・産業カウンセラー 酒井 春江 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西臼杵郡地区学術講演会 6月2日(休) 19:00~20:15 ホテル高千穂	トルリシティの幅広い活用法 ーメタボ・腎症・高齢者を中心にー 平和台病院 天野 一志	76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 大日本住友製薬(株) 日本イーライリリー(株)
延岡医学会学術講演会 6月3日(金) 19:00~20:40 ホテルメリージュ 延岡	“一般臨床医のための”腰痛症の診断と治療法 帝京大学医学部整形外科学講座准教授 北川 知明	60 (1) 73 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 塩野義製薬(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第169回宮崎県眼科医会講習会 6月4日(土) 16:00~18:30 ホテルJALシティ 宮崎 参加費:3,000円	緑内障の診断・治療の方針(仮) 日本医科大学眼科講師 中元 兼二	36 (1)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ファイザー(株)
	カテーテル針と30G針を用いた強膜内固定術の実際 大阪赤十字病院眼科部長 秋元 正行	36 (1)	
第40回宮崎CT研究会 6月4日(土) 16:00~18:30 MRT-micc 参加費:500円	最新CTテクノロジーのご紹介 GEヘルスケア・ジャパン株式会社 CT営業推進部 柴藤 尚利	0 (0.5)	◇主催 宮崎CT研究会 ◇共催 ※バイエル薬品(株) ☎0985-60-2532
	びまん性肺疾患のCT診断 ー読影の基本と症例から学ぶ読影技術ー 琉球大学医学研究科放射線診断治療学講座教授 村山 貞之	0 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第11回宮崎心臓リ ハビリテーション セミナー 6月9日(木) 18:50~20:40 JA-AZMホール	心臓リハビリテーションにおける言語聴覚士の関わり方 大分岡病院言語聴覚士 友松 優	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 ◇共催 トーアエイヨー(株)
	肺高血圧症患者に対するリハビリテーション 岡山医療センターリハビリテーション科 西崎 真里	73 (0.5)	
		74 (0.5)	
第104回江南医療 連携の会症例検 討会 6月9日(木) 19:00~20:45 宮崎江南病院	皮下のモレル・レバリー病変と慢性血腫について 宮崎江南病院健康管理センター長 杜若 陽祐	0 (0.5)	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) JCHO 宮崎江南病院 地域医療連携室 ☎0985-52-4004
	最近の大腸手術症例 宮崎江南病院外科医員 鶴田 祐介	50 (0.5)	
	熊本震災医療班活動報告(仮) 宮崎江南病院内科医長 田中 弦一	14 (0.5)	
宮崎木曜会創立記 念講演会 6月9日(木) 19:15~21:00 MRT-micc	胃炎分類—Schindlerから京都分類に至るまで— 川崎医科大学・川崎医療福祉大学特任教授 リオグランデドスール連邦大学消化器センター 国際研究部主任教授 春間 賢	9 (1) 52 (0.5)	◇主催 宮崎木曜会 ◇共催 ※アストラゼネカ(株) ☎092-283-8150 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第 1 回宮崎PDT研 究会 6 月10日(金) 17:30~19:00 宮崎大学医学部附 属病院 参加費:500円	胆道癌におけるPDTの臨床研究とその実際 宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科分野教授 七島 篤志	0 (0.5)	◇主催 宮崎光線力学療法研究会 ◇共催 ※ Meiji Seika ファルマ(株) ☎0985-25-6215
	食道癌CRT/RT後の救済PDTの開発 京都大学医学研究科腫瘍薬物治療学講座教授 武藤 学	1 (1)	
延岡医学会学術講 演会 6 月10日(金) 19:00~20:30 キャトルセゾン・ マツイ	深部静脈血栓症の新たな知見 ー深部静脈瘤の最新血管内治療(ラジオ波)ー くわばら医院長 桑原 正知	24 (0.5) 63 (0.5)	◇主催 ※延岡医学会 ☎0982-21-1300 ◇共催 第一三共(株)
都城市北諸県郡医 師会内科医会学術 講演会 6 月10日(金) 19:00~20:30 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	日常でできる慢性腰痛症の診断と治療方法 久留米大学医学部麻酔科講師 山田 信一	60 (0.5) 62 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ◇共催 塩野義製薬(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
第 4 回実地医家の ための心エコー図 勉強会 6 月10日(金) 19:00~20:40 ふじ野園 地域交 流センター(のぎき クリニック併設)	実地医家のための大動脈弁狭窄症:TAVI時代に備えて 宮崎市郡医師会病院検査科長兼 心臓病センター心血管画像診断室長 渡邊 望	7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 実地医家のための心エコー図勉強会 ◇共催 興和創薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 総務課 ☎0985-24-9119

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 6月10日(金) 19:00~20:45 ガーデンベルズ 小林	不眠症治療の実践ー宮崎県立延岡病院でのせん妄への取 組みと向精神薬の使用意図ー 長嶺南クリニック副院長 北 英二郎	20 (0.5) 32 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 MSD (株)
宮崎県医師会産業 医研修会 6月11日(土) 14:30~16:30 県医師会館	作業環境測定(騒音測定器具を使つての实地研修) 宮崎大学医学部社会医学講座 公衆衛生学分野教授 黒田 嘉紀 基礎研修・生涯研修の实地研修会: 2単位	3 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5) 84 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第20回宮崎NST研 究会 6月11日(土) 15:00~18:15 メディキット県民 文化センター 参加費: 1,000円	輸液療法と経口補水療法の新たな考え方 ー地域連携問題も含めてー 聖マリア病院医師臨床・教育・研究本部長 鶴 知光	10 (1) 80 (0.5)	◇主催 宮崎 NST 研究会 ◇共催 (株)大塚製薬工場 宮崎県プライマリ・ケア研究会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県栄養士会 (連絡先) JCHO 宮崎江南病院 ☎0985-51-7575

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県内科医会 総会並びに学術 講演会 6月11日(土) 16:00～19:00 宮崎観光ホテル	新・内科専門医制度とは，地域医療への効果は 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野教授 中里 雅光	1 (0.5) 2 (0.5)	◇主催 ※宮崎県内科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県医師会 プリストル・マイヤーズスティブ蘭
	C型肝炎撲滅に向けて一特に難治症例に対する使い分けー 九州医療センター肝臓センター部長 中牟田 誠	7 (0.5) 27 (0.5)	
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 6月11日(土) 16:30～17:40 日向市東臼杵郡医 師会館	子どもたちの未来づくり 日向市キャリア教育支援センター長 水永 正憲	0 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
		1 (0.5)	
第1回慢性疼痛 セミナー 6月11日(土) 16:45～19:00 MRT-micc 参加費：500円	見逃せない脊椎・脊髄損傷ー転倒からがんの転移までー 東京大学医学部附属病院 整形外科・脊椎外科准教授 筑田 博隆	62 (0.5) 81 (0.5)	◇主催 慢性疼痛セミナー ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041 日本イーライリリー(株)
	慢性痛の課題から治療戦略へ 島根大学医学部麻酔科学講座教授 齊藤 洋司	60 (0.5)	
		61 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
南那珂医師会生涯 教育医学会 6月13日(月) 19:00~20:10 南那珂医師会館	心房細動治療のすべて ー明日からの診療に役立つ話題を中心にー 久留米大学医学部内科学講座 心臓・血管内科部門講師	43 (1)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 バイエル薬品(株)
宮崎県医師会産業 医研修会 6月15日(水) 14:00~16:00 県医師会館	職場のストレスとその対処 産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5) 13 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成28年度 心臓 検診 一次検討会 (後期) 6月17日(金) 19:00~21:00 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科院長	11 (0.5) 33 (0.5) 43 (0.5) 44 (0.5)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第72回宮崎整形外科懇話会 6月18日(土) 18:00~19:00 宮崎大学医学部 臨床講義室 参加費:1,000円	骨軟部腫瘍の診断と治療ー現状と将来展望ー 国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 希少がんセンター長	81 (1)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎市郡小児科医会 6 月定例会 (4 木会) 6月23日(木) 19:15~20:30 ガーデンテラス 宮崎	経口補水療法と輸液の上手な使い分け ー夏本番前に知っておくべき新知見ー 聖マリア病院 医師臨床・教育・研究本部専攻医指導部長	8 (0.5) 51 (0.5)	◇主催 宮崎市郡小児科医会 ◇共催 ※(株)大塚製薬工場 ☎0985-24-2272
宮崎市郡産婦人科医会 6 月例会 6月23日(木) 19:15~20:30 MRT-micc	子宮肉腫の診断と治療について 福井大学医学部器官抑制医学講座 産婦人科学教授	11 (0.5) 84 (0.5)	◇主催 宮崎市郡産婦人科医会 ◇共催 科研製薬(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 6月24日(金) 19:00~20:30 ホテルベルフオー ト日向	リウマチ性骨粗鬆症の治療戦略 帝京平成大学健康メディカル学部教授 JCHO湯河原病院リウマチ科客員部長	12 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 日向市東臼杵郡内科医会 第一三共(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
県北産婦人科医会 (6月度例会) 6月24日(金) 19:00~20:15 ホテルメリージュ 延岡	子宮内膜症の臨床・研究の最前線 大分大学医学部産婦人科学講座教授 梶原 久司	9 (0.5) 15 (0.5)	◇主催 県北産婦人科医会 ◇共催 持田製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第2回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	グループワーク がんのリハビリテーションの問題点 (1日目 9:10~11:00) 日南市立中部病院 鈴木 幹次郎	10 (1)	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	がんのリハビリテーションの概要 (1日目 11:00~11:50) 日南市立中部病院 鈴木 幹次郎	19 (0.5)	
	周術期リハビリテーション ー患者評価のポイントとリハビリテーションの実際ー (脳腫瘍を含む) (1日目 12:40~14:10) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎善仁会病院 吉田 裕一郎	45 (1)	
	化学療法・放射線療法の副作用とリスク管理、骨転移患 者への対応 (1日目 14:20~15:30) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 古賀総合病院 黒木 昭仁	18 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第2回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	歩行・基本動作障害・ADL・IADL障害に対する対応 (1日目 15:50~16:50) 潤和会記念病院 宮崎県立日南病院	24 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	グループワーク 模擬カンファレンス (1日目 17:00~18:20) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	13 (1)	
宮崎県医師会産業 医研修会 6月25日(土) 14:00~16:00 県医師会館	長時間労働者、ストレスチェックに係る高ストレス者に 対する面接指導の実施 産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		11 (0.5)	
		12 (0.5)	
		70 (0.5)	
第1回宮崎県上気 道免疫療法研究会 6月25日(土) 17:50~20:00 宮崎観光ホテル 参加費：1,000円	寄生虫からみたアレルギー反応の起源と進化 宮崎大学医学部感染症学講座寄生虫学分野教授 丸山 治彦	9 (1)	◇主催 宮崎県上気道免疫療法研究会 ◇共催 ※鳥居薬品株式会社 ☎0985-29-2286
	アレルゲン免疫療法の現状と将来 日本医科大学医学研究科 頭頸部・感覚器科学分野教授 大久保 公裕	39 (1)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第131回宮崎県皮膚科懇話会 第14回日本臨床皮膚科医会宮崎県支部会 6月25日(土) 18:00～19:00 県立宮崎病院	ダニ媒介感染症(SFTSを中心に) 県立宮崎病院感染症内科 山中 篤志	26 (0.5) 28 (0.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会宮崎県支部 (連絡先) たじり皮膚科医院 ☎0985-84-1110
第2回宮崎がんのリハビリテーション研修会 6月25日(土) 9:00～18:20 6月26日(日) 9:00～17:00 県立宮崎病院	がん患者の摂食・嚥下障害, コミュニケーション障害, 口腔ケア (2日目 9:00～10:10) 宮崎大学医学部附属病院 宮崎県立延岡病院 金岡 敦 高森 晃一	34 (0.5) 49 (0.5)	◇主催 宮崎がんのリハビリテーション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
	進行がん患者に対するリハビリテーションアプローチ (2日目 10:20～11:20) 小林市民病院 渡邊 紘章	80 (0.5) 81 (0.5)	
	心のケアとリハビリテーション (2日目 11:30～12:30) 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	69 (0.5) 70 (0.5)	
	リハビリテーションにおける看護師の役割(症例検討含む) (2日目 13:20～14:00) 宮崎県立宮崎病院 藤元総合病院 藤井 和実 米丸 順子	0 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第2回宮崎がんの リハビリテーショ ン研修会(2日間) 6月25日(土) 9:00~18:20 6月26日(日) 9:00~17:00 県立宮崎病院	グループワーク がんのリハビリテーションの問題点の解決 (2日目 15:00~16:40) 宮崎大学医学部リハビリテーション科 黒木 洋美 宮崎大学医学部精神科 船橋 英樹	12 (1)	◇主催 宮崎がんのリハビリテー ション研修会実行委員会 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎県歯科医師会 宮崎県看護協会 宮崎県 宮崎県理学療法士会 宮崎県作業療法士会 宮崎県言語聴覚士会 (連絡先) 日南市立中央病院 ☎0987-27-1111
第51回ひむか運動 器セミナー 6月29日(水) 19:00~20:15 宮崎観光ホテル 参加費:500円	膝関節疾患治療のトピックス ースポーツ疾患・変形性関節症ー 神戸海星病院長 黒坂 昌弘	61 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ひむか運動器セミナー ◇共催 大正富山医薬品(株) 帝人ファーマ(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎0985-85-0986
延岡医学会学術講 演会 7月1日(金) 18:40~19:50 ホテルメリージュ 延岡	運動器の慢性疼痛の治療戦略 ー高齢者の健康維持・増進をめざしてー 久留米大学医学部整形外科学講師 山田 圭	60 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 持田製薬(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第9回脂質異常症 と動脈硬化の治療 を考える会 7月1日(金) 19:15~20:45 宮崎観光ホテル	糖尿病合併症2次予防患者における積極的脂質管理の重 要性ーエゼチミブの臨床的意義を再考するー 順天堂大学医学研究科循環器内科学先任准教授 順天堂東京江東高齢者医療センター 循環器内科長 宮内 克己	23 (0.5) 75 (0.5)	◇主催 脂質異常症と動脈硬化の治療を考える会 ◇共催 MSD(株) ※バイエル薬品(株) ☎0985-60-2532

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
平成28年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会 総会並びに合 同学会 7月2日(土) 15:30~18:00 県医師会館	当科で行っている熱傷、褥瘡の治療 宮崎大学医学部感覚運動医学皮膚科学教授 天野 正宏	56 (0.5) 58 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会
第200回全国禁煙ア ドバイザー育成講 習会in宮崎 7月3日(日) 9:45~16:00 宮崎市保健所 参加費:5,000円	職場で役立つ禁煙支援のエビデンス のだ小児科医院長 野田 隆	11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 日本禁煙科学会 ◇共催 宮崎市 宮崎産業保健総合支援センター 宮崎県医師会 ◇後援 宮崎県 他多数 (連絡先) のだ小児科医院 ☎0987-71-1112
	職場で役立つ禁煙支援の考え方 禁煙マラソン事務局長 三浦 秀史	11 (0.5) 12 (0.5)	
	世界で一番聞きたい保健指導&健康教育論 モンゴル医学科学大学歯学部客員教授 岡崎 好秀	11 (0.5) 12 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月7日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院	長時間労働，ストレスチェックに係る高ストレス者に対 する面接指導の実施 産業保健相談員・都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
平成28年度 心臓 検診 二次検討会 (後期) 7月8日(金) 19:00~21:00 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科院長 中村 剛之	11 (0.5) 33 (0.5) 43 (0.5) 44 (0.5)	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
宮崎県医師会産業 医研修会 7月13日(水) 14:00~16:00 県医師会館	高ストレス者への面接指導 産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月14日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	化学物質の労働安全衛生法上の規則適用の実務研修 産業保健相談員・労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月21日(木) 19:00~21:00 延岡市中小企業 振興センター	化学物質の労働安全衛生法上の規則適用の実務研修 産業保健相談員・労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講 演会 7月22日(金) 19:00~21:00 ホテルメリージュ 延岡	機能的消化管障害：慢性便秘症への対応 ーアミティーザの臨床使用経験も踏まえてー 福岡市医師会成人病センター院長 壁村 哲平	54 (1)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 マイランEPD 合同会社 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第231回宮崎市郡 小児科医会学術 講演会 7月28日(木) 19:30~20:30 宮崎観光ホテル	わが国における麻疹風疹の現状と今後の対策 国立感染症研究所ウイルス第三部第一室長 駒瀬 勝啓	11 (1)	◇主催 宮崎市郡小児科医会 ◇共催 ※武田薬品工業(株) ☎090-6495-5149
宮崎県医師会産業 医研修会 8月1日(月) 19:00~21:00 県医師会館	化学物質の労働安全衛生法上の規則適用の実務研修 産業保健相談員・労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第27回宮崎リウマ チ医の会 8月6日(土) 15:00~18:10 MRT-micc 参加費：1,000円	生物学的製剤時代のRA脊椎手術と周術期管理 九州医療センター 整形外科脊椎・運動器センター部長 寺田 和正	4 (0.5) 59 (0.5)	◇主催 宮崎リウマチ医の会 ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
	全身性エリテマトーデスの病態と治療 市立札幌病院副院長 向井 正也	5 (0.5) 28 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第27回宮崎リウマチ医の会 8月6日(土) 15:00~18:10 MRT-micc 参加費:1,000円	若年性特発性関節炎 JIA-Bio時代の診断と治療 鹿児島大学医学部保健学科 看護学専攻母性・小児看護学講座教授 武田 修治	7 (0.5) 61 (0.5)	◇主催 宮崎リウマチ医の会 ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
宮崎県医師会産業医研修会 8月9日(火) 14:00~16:00 県医師会館	化学物質管理入門 ーリスクアセスメントとそれに関する留意点ー 産業保健相談員・西部労働衛生コンサルタント 事務所代表 矢崎 武 生涯研修の専門研修会:2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 8月18日(木) 14:00~16:00 県医師会館	メンタルヘルスQ&A 1次予防編ー心が病まないためにー 産業保健相談員・都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の専門研修会:2単位	5 (0.5) 6 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月24日(水) 19:00~21:00 県医師会館	勤労者の自動車運転事故 産業保健相談員・大西医院長 大西 雄二 生涯研修の専門研修会：2単位	32 (0.5) 33 (0.5) 35 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎産業保健総合支援センター 0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月31日(水) 19:00~21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員・サムコテクシブ(株) 総務部安全防災課産業医(産業衛生専門医) 谷山 ゆかり 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (2)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード(略称:CC)

1 医師のプロフェッショナルリズム	29 認知能の障害	57 外傷
2 医療倫理：臨床倫理	30 頭痛	58 褥瘡
3 医療倫理：研究倫理と生命倫理	31 めまい	59 背部痛
4 医師-患者関係とコミュニケーション	32 意識障害	60 腰痛
5 心理社会的アプローチ	33 失神	61 関節痛
6 医療制度と法律	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療の質と安全	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 感染対策	36 視力障害、視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防と保健	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 地域医療	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 医療と介護および福祉の連携	41 嘔声	69 不安
14 災害医療	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便秘異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	0 その他

私 の 本



宮崎市 大西医院

おおにし ゆうじ
大 西 雄 二

歌集『日向の光と影』

発行所 鋳 脈 社

定 価 本体 1,852円+税

医師会員のなかには藤本孝一先生、長嶺元久先生など優れた歌人がいます。長嶺先生の若山牧水研究は瞠目すべき業績です。

日々の業務で自由な時間が取れないなかで、自分をどう表現したら良いか考えていました。平成24年4月、短歌雑誌が目にとまりました。特集が「六十歳代から始める短歌」でした。天啓のように短歌を作り、歌集を刊行しようと決心しました。

開業医として生と死に触れるたびに、何か伝えたい思いがわき上がってきます。生と死を若い頃より切実に感じます。日々の診療でみせる些細なエピソードにも印象深いものがあり、作品として残しておきたいと考えました。

警察医の仕事で、異状死の検案をいたします。仕事を通して故人を逆照射することによって浮かび上がる人生があります。今まで誰も短歌で表現していないようです。

両親の疎開地の大淀川の支流の自然豊かな山村で生まれました。今となってはそのことは偶然とは思えません。魂が宿るという自然に身をおくことで癒されます。

団塊の世代である私の青春は学園闘争のさなかでした。学園は荒れ、私の将来も見通せず焦慮と不安の辛い時期でした。数10年を経て、ようやく振り返ることができるようになりました。

平成27年「宮崎日日新聞文芸歌壇賞」をいただきました。歌集は「医療」「警察医」「古里」「青春」「自然」など13のテーマごとに349首を並べています。この地で作歌活動を続けたいと思います。今は、生涯をかけて修練しなければならないと思っています。



診療メモ



低線量肺がんCT 検診

宮崎県健康づくり協会 ゆだとし ゆき 湯田敏行

【はじめに】

本邦における死亡原因は昭和56年以来、悪性新生物が首位で毎年死亡数は増加し、平成26年には36.8万人が亡くなり、全死亡の28.9%を占めている。部位別では平成10年から連続して肺がんが一位で平成26年には7.34万人、宮崎県内でも668人が死亡している。従来、国の対策型検診として胸部X線写真(以下、胸写)を用いた肺がん検診が行われてきたが、肺がん死は増加し続けている。

当協会では肺がんの早期発見を目的として、県内の諸関係機関と連携し平成16年度に低線量肺がんCT検診を開始、現在CT検診車2台(マルチスライスCT機器搭載)で県内21市町村を巡回し肺がんCT検診を実施している。平成16年から26年度までの11年間の実績を紹介します。

【検査】

- ①対象：原則として50歳以上。
- ②撮影：管電圧120KV，管電流50mA以下。1時間20人を上限，1日最大120名。
- ③読影判定：E判定；肺がん疑い，D判定；肺がん以外の胸郭内疾患，さらに当協会独自に胸郭外疾患で精密検査を要するものをF判定とした。

【専門委員会の設置】

23名で構成(うち，19名は外部委員)

受診者数は毎年増加し，延べ受診件数は78,316件であった。要精検率は過去5年間でみると，E判定2.7～5.1%，D判定2.4～4.1%，F判定3.5～7.0%で，精検受診率は90%を超えている。

【実績】

表1. 11年間の実績：受診者数，がん発見数(進行期別)・がん発見率・陽性反応適中度

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	累計
受診者数	437	2656	3010	3468	4441	5963	9934	10706	11705	12983	13013	78316
原発性肺がん	早期	4	6	0	3	3	5	15	10	14	22	98
	進行	0	3	1	1	4	3	3	7	3	11	40
	進行期不明	1	1	0	1	0	0	4	1	2	3	13
	計	5	10	1	5	7	8	22	18	19	36	151
がん発見率	1.14%	0.38%	0.03%	0.14%	0.16%	0.13%	0.22%	0.17%	0.16%	0.28%	0.15%	0.19%
陽性反応適中度	11.4%	5.75%	1.52%	5.00%	6.00%	4.32%	4.37%	3.15%	4.25%	6.65%	4.47%	4.63%
転移性肺がん	1	1	1	1	0	2	1	1	1	3	2	14

早期	0期	1
	I A期	75
	I B期	22
進行期	II A期	7
	II B期	8
	III A期	10
	III B期	5
	IV期	10
	不明	13
	合計	151

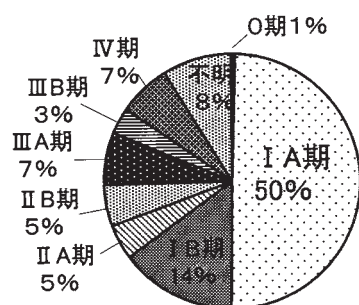


図1. がん確定者の病期分類

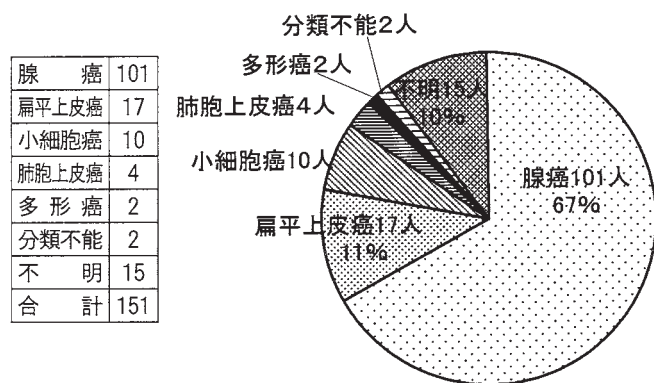


図2. 病理組織分類

原発性肺がんの総数は151件(男90, 女61)で, がん発見率は0.19%であった。これを50歳以上の受診者69,200件でみるとがん発見数148件, がん発見率は0.28%となった。がんの進行度分類では早期98件(0期1件, I A期75件, I B期22件), 進行期40件(II A期7件, II B期8件, III A期10件, III B期5件, IV期10件), 進行期不明13件であった。早期がんは病期確定肺がん全体の71.0%であった。病理組織分類は腺癌101件, 扁平上皮癌17件, 小細胞癌10件などであった。病理組織が確定したうち74.3%は腺がんであった。また転移性肺がんも14件発見した。

【考察】

従来, 国の対策型肺がん検診として胸写と喀痰細胞診検査が実施されてきたが, 肺がん死は増加し続けている。当協会では胸写(結核検診, 肺がん検診)で例年70件から90件前後の肺がんを

発見しているが, 早期がん率は50%をやや超える程度である。一般的に胸写で発見された肺がんの5年生存率は40%程度とされている。肺がん死を少なくするには, より早期の肺がんを発見する必要がある。

当協会では平成16年度に低線量肺がんCT検診車を九州で初めて導入, 平成26年度で11年を経過し受診総数は78,316件となった。50歳以上の受診者でみるとがん発見率は0.28%であった。因みに平成26年度の50歳以上の胸写94,800件でのがん発見数は68件, がん発見率は0.07%であり, 50歳以上を対象とした場合がん発見率はCT検診で4倍高く, また当然早期がん率も高かった。

肺がんCT検診での死亡率減少効果に関する報告は現段階では少ない。重喫煙者を対象とした米国でのNLST (National Lung Screening Trial) (NEJM 2011)の報告によると, 胸写での検診群と比較してCT検診群で肺がん死が20

%, 総死亡が6.7%減少したことが示された。

一方, 要精検率が24.2%(胸写では6.9%)とCT検診群の高い偽陽性が懸念される。一方, 日本でも最近日立市を対象とした低線量CT検診受診者の予後を追跡したコホート研究で肺がん死亡が38%減少したと報告された。

また, CT画像は気腫性変化の判定が容易で禁煙指導への動機付け, さらに胸部大動脈瘤や縦隔疾患の診断に有用な情報を提供してくれる。

健常者を対象とした検診であることから被ばく線量低減化は重要な課題である。協会での低線量肺がんCT検診の被ばく量は胃透視と同程度で, 通常診療胸部CTの約1/7程度であるが, さらなる低減化に向けた努力が求められる。受診者には検診の限界, 検診で得られる利益あるいは不利益について適切な情報を提供し, 十分なインフォームドコンセントが必要である。また常に徹底した精度管理のもとに検診が遂行されることが重要である。

宮大医学部学生のページ

台湾成功大学留学記

宮崎大学医学部医学科 6 年 ^{えだ}枝 ^{もと}元 ^{まさ}真 ^と人

はじめに

宮崎大学 6 年の枝元と申します。医学部生のページをお借りしまして、今年 4 月に体験しました台湾臨床留学につきまして、簡単ではありますがご紹介させていただきます。

EMP (English for Medical Professionals)と海外留学

宮崎大学では、医学部英語科の先生方の指導の下、EMP という医学英語を学ぶコースが設けられています。1, 2 年次では必修ですが、4 年次以降は海外留学を志す学生が選択受講することができ、4 年次前期に週 1 回の講義と、4 年後期から 5 年後期にかけて夏季・春季休暇に 1 週間ずつの集中講義が設けられています。集中講義では、大学病院や県外からお呼びした講師の先生から、臨床現場を意識した実践的なレクチャーをいただいています。また、講義以外でも、臨床英単語や問診練習など、学生が自主的に時間を見つけてトレーニングしています。

宮崎大学の場合には、6 年次に海外で実習を行うことができ、単位として認められます。今年度は過去最多の 19 名の学生が留学をさせていただけることになりました。内訳は、アメリカのカリフォルニア大学アーバイン校が 6 名、タイのプリンスオブソンクラ大学が 9 名、そして台湾の国立台湾成功大学が 4 名となっています。台湾につきましては、私達が宮崎大学初の派遣学生ということで、やや緊張しながら留学に向かいました。

台湾成功大学とは

台湾成功大学は台湾の南部、台南に位置する

国立大学です。成功といっても success のことではなく、台湾の英雄である鄭成功の名前が由来となっています。1600 年代に台湾からオランダを打ち払った人物ですが、幼少期を日本で過ごしており、日本にとっても馴染みのある人物と言えます。

台湾では有数の総合大学で、医学部では医師や看護師だけでなく、薬剤師や作業療法士、臨床検査技師の養成が行われています。医学科は 1 学年で 70 人が在籍していますが、試験、カルテの記入などは全て英語で行っており、また在学中に約半数が留学を経験するということもあり、ほぼ全ての学生が流暢な英語を話すことができる印象でした。また、在学期間は 7 年間で、7 年生はインターンと呼ばれ、日本で言う初期研修医と同じような役割を果たしています。卒業後、PGY(Post Graduate Year) 1 年間を経て、専門とする診療科を決定します。

留学生活

私は、感染症内科と消化器内科に 2 週間ずつ滞在しました。大学病院の内科では、医師、看護師、薬剤師、学生などからなる 6, 7 人ほどの小グループが複数存在し、それぞれのグループが 15 名程度の患者を担当する形で、病棟業務が行われていました。毎日、グループごとのラウンドが行われており、私達も担当患者のプレゼンテーションを行ったり、その場で質疑応答があったりと、チームの一員として扱っていただきました。

日本と比較して、特に印象に残ったことは、疾患の違いと多職種連携の円滑さでした。疾患

としては、HIVと肝炎ウイルスの有病率が高く、これらの疾患のコントロールや合併症の治療を扱う機会が多かったように思います。また、一昨年に日本でも代々木公園で国内感染者が出たとして話題になりましたが、デング熱がこちらではcommonな疾患となっており、典型的な臨床経過やリケッチアとの鑑別点など、日常的に扱っているからこそわかるような重要な点を教えていただきました。

チーム内では、医師がリーダーシップをとってはいるものの、ラウンド中にも薬剤師や看護師の発言の機会が多く、職種間の垣根が日本よりも低いように感じました。特に、AIDS患者など、複数の合併症を有していたり、社会的な問題を有していたりする患者の場合には、薬剤師が処方に関して積極的に意見を述べたり、Case Managerと呼ばれるHIV患者専門の職種が患者・家族と医師の架け橋になったりするなどの場面が見られました。それ以外にも、事務仕事をクラークが、侵襲的な処置が不要な入院患者をNurse Practitionerが医師の代わりに担当するなど、役割を分担することで医師の負担を軽減し、効率的な医療を実現しようという姿勢を感じました。

医学教育の素晴らしさ

留学中に痛感したことの1つが、医学生レベルの高さです。知識もさることながら、臨床的な考え方が日本よりも遥かに鍛えられている印象でした。紹介入院だけでなく、ERからの入院患者も多いため、common diseaseを見る機会が日本の大学病院よりも多いということも一因だとは思いますが、主訴に対するアプローチ、診断と初期診療、そして退院までの治療計画の組み立てといった一連の流れを、比較的シンプルな病態を通して、5年生のうちから実践的に学んでおり、自分の実力不足を恥ずかしく思うとともに大いに刺激を受けることができました。

加えて、医学生と医師の関係が親密で、学生と医師がディスカッションや質疑応答をしやすい空気がありました。日本の初期研修医1年目にあたる役割を7年生が果たしているためか、



学生から医師へと連続した教育がなされているように思います。7年生が学生と医師の架け橋を担っている面もあり、そのことが良好な関係に繋がっているのではないかと感じました。

講義やラウンド、カンファレンスについては、普段は中国語で実施しているとのことでしたが、私達の実習しているということで、英語で行っていただきました。事前準備もなく、急に英語の環境に変わったにも関わらず、医学生、医師、薬剤師、看護師の全職種が英語を話しており、本当に驚かされました。

余暇の過ごし方

連日、先生方や学生に食事に誘われることが多く、美食で有名な台南の料理を楽しむことができました。台湾人は、歴史的な背景や地理的な近さもあつてか、日本人に対する関心が非常に強く、本当に親切にいただきました。また、休日には、日月潭や太魯閣など、台湾の名所を観光し、気づけば台湾の東西南北の観光名所を制覇していました。

終わりに

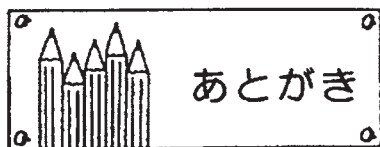
1か月間の留学生活でしたが、臨床的な知識だけでなく、医療・医学に対する姿勢など日本との違いを数多く感じることができました。同時に、日本の良さを感じる場面も多々あり、日本の医療に対する視点も少し変わったように思います。このような貴重な機会を与えていただいたことに深く感謝するとともに、後輩達にも同じようなチャンスが与えられ、素晴らしい体験ができるように願っています。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
4月12日	・「地域密着型通所介護の施行に伴う『指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスに関する基準について』等の一部改正について」の送付について ・「運動器検診実施方法」・「成長曲線や肥満度を活用した発育の評価」に関するリーフレットの送付について ・伊勢志摩サミット等開催に伴う感染症発生動向調査の徹底について ・電子マニフェスト新規団体加入者（C料金）使用料無料キャンペーンについて ・かかりつけ医等発達障害対応力向上研修事業の実施について ・蚊媒介感染症の診療ガイドラインについて ・「日本脳炎ワクチン接種に関するQ & A」更新及び高齢者肺炎球菌ワクチン接種対象者に関するリーフレットについて ・梅毒の流行に関する注意喚起について
4月13日	・「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について」の一部改正について ・医療事故情報収集等事業第44回報告書の公表等について
4月15日	・リゾチーム製剤及びプロナーゼ製剤の供給停止等について ・医療法人の機関について
4月19日	・麻薬及び向精神薬取締法等の一部改正について ・平成28年熊本地震の被災に伴う保険診療関係等及び診療報酬の取扱いについて ・平成28年度認知症介護研修事業の実施について ・労働安全衛生規則の一部を改正する省令について ・産業保健業務基準（平成28年度版）等の送付について ・医療事故情報収集等事業第44回報告書の送付について ・平成28年熊本県熊本市地方の地震による被災者に係る被保険者証等の提示等について ・医療法人の合併及び分割について ・社会医療法人の認定要件の見直し及び認定が取り消された医療法人の救急医療等確保事業に係る業務の継続的な実施に関する計画等について ・「医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令の施行について」の一部改正について ・平成28年度県民一斉防災行動訓練「みやぎシェイクアウト」について ・「地域密着型通所介護の施行に伴う『指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の算定に関する基準の制定に伴う実施上の留意事項について』等の一部改正について」の送付について ・平成28年度宮崎県防災訓練大綱について ・「第3次食育推進基本計画」に基づく健康づくりのための食育の推進について ・平成28年度認知症ケア研修会～認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）～【東日本会場】のご案内（情報提供） ・「『介護職員処遇改善加算に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について』の一部改正について」の送付について ・新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種（国民生活・国民経済安定分野）の登録について

送付日	文 書 名
4月19日	・ジカウイルス感染症に関する情報提供について ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における健康診断，就業制限及び入院の取扱いについて」の一部改正について ・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・児童生徒等の健康診断等の適切な実施について ・学校医，学校歯科医及び学校薬剤師の配置について
4月20日	・平成28年熊本地震による被災者の「公害健康被害の補償等に関する法律」「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」「石綿による健康被害の救済に関する法律」等に係る公費負担医療等の取扱いについて
4月21日	・平成28年(2016年)熊本地震における医療用麻薬の県境移動の取扱いについて ・平成28年(2016年)熊本地震における病院，診療所，薬局又は地方公共団体での間での医薬品等の融通について ・平成28年熊本地震による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて(その2) ・平成28年熊本地震の被災者に対する既往歴等の提供について
4月22日	・「障害者職場復帰支援助成金」制度における医師の意見書の代用について ・平成28年熊本地震に伴う介護サービス事業所の人員基準等の取扱いについて ・熊本地震による避難生活に伴う心身の機能の低下の予防について ・平成28年(2016年)熊本地震の被災者に係る被保険者証の提示等について ・「認知症施策等総合支援事業の実施について」の一部改正について ・転院搬送における救急車の適正利用の推進について ・報告書「水害時における避難・応急対策の今後の在り方について」(中央防災会議防災対策実行会議 水害時の避難・応急対策検討ワーキンググループ)の送付について ・高齢者，障害者等の要援護者への緊急的対応及び職員の応援派遣について ・認知症サポート医養成研修等修了者について ・平成28年熊本地震により被災した要介護高齢者等への対応について ・「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」の一部改正の周知について ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における健康診断，就業制限及び入院の取扱いについて」の一部改正について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の公布及び一部施行について ・ジカウイルス感染症に関する情報提供について ・予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行について
4月25日	・平成28年熊本地震による被災者に係る一部負担金等の取扱いについて(その2) ・平成28年熊本地震に関連する診療報酬の取扱いについて ・平成28年熊本地震による被災者に係る公費負担医療の取扱いについて ・「診療所における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査」の結果の周知について ・平成28年度労災診療費算定基準の一部改正に伴う自賠責保険診療費算定基準(自賠責新基準)の取扱いについて ・「電子処方せんの運用ガイドラインの策定」および『「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律等の施行等について」の一部改正』について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.113」の提供について ・「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について」の一部改正について(排水設備における放射性同位元素濃度の新たな算定方法)
4月26日	・日本医師会年金熊本地震における被災地域の加入者・受給者に対する特別措置について ・「第3回医師たちによるクリスマス・チャリティコンサート」開催要項 ・平成28年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦について ・労災診療費算定基準の一部改正について



あとがき

生方が長い修練により習得した技術に対し、正当な評価がされて嬉しく思う。他の外科系の手術も同様の傾向である。しかし、最近の新薬の値段は一体どうなっているのだろうか。先日、ひと月当たり約300万円する抗がん剤が保険収載された。これで完治するのなら安いものだが、現在ある抗がん剤と比べ2～3か月の延命効果らしい。新薬開発にかかる費用が莫大であることは承知しているが、目玉が飛び出る金額である。患者負担は所得により変わり月0円～15万円ほどで、他はすべて健康保険料と税金である。2～3か月の延命に価値がないとは思わない。しかし、この抗がん剤と比べると、非常にささやかな手術料で患者を一人一人治し、笑顔で退院する様子を見送るものとしては、理解に苦しむ事態である。この値段で保険収載されたからには、当然一定のルールに則られたものであるだろうし、製薬会社が得られた利益は、将来得られるより高機能な新薬開発に繋がるのだろう。わかっている、なんだかモヤモヤするのである。

(岡本)

前広報委員会委員長の上野先生から、「先生にぴったりの仕事だから…」と言われ、何回もお断りしたのに、荒木早苗先生からの直電一本で、広報委員会に引き込まれた山崎です。皆さん、知識も豊富で、到底私には務まらないような気がします、精一杯がんばります。さっそく、校正の仕事が回ってきましたが、細かいところまで凝る性分なので、委員の皆様レベル？に合わせて、楽しくやっていきたいです。よろしくお願いいたします。(山崎)

今年度から広報委員を務めさせていただくことになりました稲倉です。前任の篠原先生から(酒席で)誘われて気軽に何となく応じてしまいましたが、意外に地味で大変で真面目さが要求される作業であり、大雑把な自分に果たして務まるかどうか早くも不安を感じております。うちの可愛い2歳の娘に「パパ、またお仕事～。早く帰ってきて～」等と後ろ髪を引かれて辛いのですが、涙を飲んで毎月1～2回の集まりにはしっかり参加して日本語の使い方や医療界の時事ネタについて勉強させていただこうと思っています。やらせていただくからには他の委員の先生方と一緒に熱い気持ちで取り組み、皆さんの役に立つ、そして何か発信できるような日州医事にしていければいいなと考えています。(稲倉)

風薫るさわやかな季節となりました。今月号が届く頃は、もう梅雨入りしている頃でしょうか。今回より広報委員会を務めさせていただくことになりました上山です。

広報委員会を通して、あらためて医師会は、様々な活動をしているという事を考えさせられました。これから先、様々な活動報告から先生方の随筆等々、多くの情報を一冊にまとめていく作業を行いながら、あっという間に一か月、一年が過ぎていくことにな

開業すると、勤務医時代には関心がなかった毎回の診療報酬改定に一喜一憂するようになった。数年前に手術や侵襲を伴う検査等の技術料が大幅に引き上げられ(モノから人へ)、人工関節や関節鏡等の手術を行う私は大いに奮い立った。今年の診療報酬改定では、整形外科領域では指移植術、側弯症手術、悪性腫瘍手術等が引き上げられた。私は専門外だが、その分野の先

りそうです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(上山)

ゴールデンウィークは大阪と奈良の県境にある大和葛城山へ、家族で久しぶりの山登りに行ってきました。標高1,000メートルほどの山なのでそれほど苦勞せずに登れるだろうとたかをくくっていたのですが、想像以上に厳しく、日頃の運動不足を痛感させられました。なので、今年は山登りが好きな大学の友人たちと色々な山に登って体力をつけたいと思っています。まずは、近場の清武にある双石山を制覇してから、少し足を伸ばして祖母山などにも行くことができたらいいなと考えています。(佐井)

今年度より広報委員会に参加することになりました宮大医学部の柴野と申します。よろしくお願いいたします。4年生になりいよいよ部活も引退する時期が近付いてきました。今思えば気楽に自分勝手に部活動を楽しんでいた1年生のころとは異なり、幹部学年となったいま、後輩の育成や部全体の運営など気に掛けなくてはならないことが多くなってきました。苦勞することも多くなりましたが、その分学ぶこともたくさんあると実感しています。勉学にも手を抜くことなく、夏にある西医体まで全力で頑張っていきたいと思います。(柴野)

所有する3台のパソコンにウィンドウズ10をインストールしたところ、2台が誤作動を起こすようになり、修理に出すはめになりました。専門家に聞いたところ最近同様の相談が多いとのこと。こちらはインストールするつもりはないのになかば強制的に誘導されます。社会問題になっていないのが不思議です。(佐々木)